

クリスチャンとして生きる——でも、どうすればいいの？——

ガイド

章の概要

0. はじめに
1. 神と共に生きる
2. 人生の意味と目的
3. 神のあなたへの愛
4. 感謝、優雅さ、謙遜
5. 神とは誰か？
6. イエスとは誰ですか？
7. 聖霊とは誰ですか？
8. サタンとは誰か？
9. 神から離れること
10. なぜ罪を犯すのか？
11. 地獄は本当に存在するのか？
12. なぜ聖書を読むのか？
13. 聖なる者となれ！
14. 聖霊において成長するにはどうすればよいのでしょうか？
15. クリスチャンとして日常生活を送る
16. 信仰を深めるにはどうすれば良いのでしょうか？
17. 愛；人生で最も大切なもの！
18. どうすれば神の声を他の声と区別できますか？
19. いずれにしても、私は永遠の命を得るのでしょうか？
20. イエスは天国へ行く唯一の道ですか？
21. 神はなぜ苦しみをお許しになるのですか？
22. 神の祝福の光の中で生きる！
23. 結びの言葉

0. 導入：

1984年3月のその日曜日の午後は、すでに遅い時間だった。

当時17歳だった私は、雪崩の噴出口にたった一人で立っていました。スキー旅行は突然終わりを迎えたのです。不気味な静寂が私を包み込みました。

私はプローブで友人を探しました。彼は私の下の雪の中に埋もれ、救助を待っていたのです。雪崩は狭いV字型の谷をほぼ完全に埋め尽くしていました。兄は助けを求めて谷へ車で降りていきました。辺りは徐々に暗くなり、私は救助ヘリコプターの轟音が聞こえてくるのを待ち望んでいました。

絶望が私を襲いそうになりました。しかし、頭の中で声が聞こえました。「恐れる必要はない。ピーターは生きている！」

そうです。この確信を与えてくれたのは、明らかに聖霊でした。私は雪崩の噴出口で神の存在を感じました。

そこで私は祈りました。「天におられる神よ、私は自分の人生をあなたに捧げます。体も魂もすべてをあなたに捧げ、あなたに従います。ピーターを生きたまま掘り出すことができれば。」

午後7時15分、ついに最初のヘリコプターが到着しました！そして午後7時40分、雪崩探知機を使ってピーターの位置を特定することができました。

今でもその光景が目に焼き付いています。救助隊員の一人が「見つけたぞ！」と叫んでいたのです。

まるでピックアップスティックのように、細い赤い雪崩探知棒が空中を飛び交い、ミカドのゲームのように山積みになった。皆が雪崩用シャベルを手に取り、雪の中に4メートルも埋もれたピーターを救出するために必要な巨大な雪崩の漏斗を作るのを手伝った。

一番下のランプに照らされたところに、ピーターの頭が見えた。そして、その頭は笑っていた！まさに奇跡だった！ピーターは雪崩に3時間30分も埋もれていたのだ！凍傷も低体温症も全くなかった。何もなかったのだ！

雪崩は彼の頭の毛一本にも傷をつけなかった。

そして私は？私は神に、完全に神に属することを誓いました！

そして今、神との冒険が始まります。多くの喜びと、それ以上に多くの苦難が待っています。そうです、私はいくつかの厳しい教訓を学ばなければなりませんでした。キリストの信者

として、同時に二つの場所にいることはできないということを、私はどうしても受け入れようとしませんでした。私は頑固者でした。しかし、神は長年にわたり私を限りなく愛し、忍耐強く見守ってくださいました。神は決して私を見捨てませんでした。

この本で皆さんと分かち合うすべての洞察は、聖霊を通して私に啓示されたものか、あるいは私自身の過ちから苦勞して学んだものです。

神の祝福と導きの下でキリストの信者として生きるには、多くの洞察が必要です。— 神とは何か？— 神とは誰か？— 神とはどのような方か？— 神は私に何を求めているのか？— イエスとは誰か？— そして聖霊とは？— これらはすべて、聖霊が徐々に明らかにしてくださる洞察です。しかし、先ほども言ったように、これには時間がかかります。そしてそれは、最初は多くの間違いを犯すことを意味します。もし当時、皆さんが手にしているような手引書があれば、私はそれらの間違いや回り道を避けることができたでしょう。この本には、私が目標をより早く達成するのに役立つアドバイスやヒントが載っていたはずだ。

本書は退屈な理論書ではありません。神と共に生きるための「ユーザーマニュアル」のような役割を果たすことを意図しています。

信仰に関する疑問に答え、指針となることを目指しています。ただし、本書は旧約聖書と新約聖書を毎日読むこと、そして神との対話を続けることに取って代わるものではないことをご承知おきください。この二つこそが、神との関係の基盤となるものです。

聖句：

聖句の大部分は「Hope for All」 (Hfa) 訳から引用しています。

読書を通して、たくさんの祝福がありますように。

1. 神と共に生きる

1.1 私が神の子となった経緯

私は宗教的な家庭で育ちました。しかし、それは何の意味もありません。私も兄弟姉妹とよく口論し、決して模範的な子供ではありませんでした。12歳くらいの

頃、母が私にこう言いました。「いい加減悔い改めなさい！

イエス様に罪を赦してもらい、イエス様を心に迎え入れなさい。そうしないと地獄に落ちるわよ！そんなことになりたくないでしょ？」

ええ、私の考えでは、母の言う通りでした。私は神を信じていましたし、イエス様が私の罪のために私の代わりに死んでくださったと信じていました。そして、救いの確信を得たいなら、悔い改めなければならないと思っていました。イエス様に罪を洗い流していただき、友、指導者、そして主になっていただくようお願いしなければなりませんでした。

キリスト教のユースキャンプで、私は誰にも気づかれずに、静かにこの一步を踏み出しました。

その後、天使たちが喜ぶ声が聞こえたとか、天にも昇るような気持ちになったとかいうわけではありません。何も起こりませんでした。

しかし心の奥底では、私は自分が神の子であり、神の家族や信者の一員であると確信していた。

こうして、若い頃の私は敬虔なクリスチャンとして生きていました。それは素晴らしい日々でした。いつも私の友であり指導者であったイエス様を感じ、イエス様の声、いや、むしろ神の声が私に語りかけているのを感じていました。

しかし、結局のところ、私はこの世に生きており、その誘惑に弱いままでした。

そのため、私は「世俗的な」生活と神と共に生きる生活の間で、絶えず揺れ動いていたのです。

敬虔なクリスチャンとして、私は都合の良いことばかりはできないのだと、徐々に理解していきました。雪崩の跡地で神に人生を捧げた後でさえ、私は神と世俗の間で葛藤していました。

この本に書き記したことはすべて、少しずつ、徐々に私の中で明確になっていったのです。

若い頃、神様が私にどうすべきかをはっきりと示してくださった瞬間が何度もありました。

しかし、私は神様の道に従いたくなかったのです。

私は不従順で、神様の戒めを無視し、世の道を選びました。その結果、40年経った今でも、その影響は私の心に深く刻まれています

。私はあなたに、私と同じような苦しみを味わってほしくありません。だからこそ、このガイドを書いているのです。このガイドは、信仰を持つクリスチャンの人生において本当に大切なことは何か、そして神の子であることがどれほど美しく、解放的なことなのかを、あなたに知っていただくためのものです。

1.2 この本を書いた対象者：

お元気ですか？ - これまでの人生はいかがでしたか？

実に非論理的だ。私たちが買う機器にはすべて取扱説明書が付いている。

しかし、若い頃は、計画も羅針盤も道しるべもなく、何の指針もないまま世の中に出ていく

。

だからあれこれ試してみて、人生の道筋を手探りで見つけ出さなければならない。

すべては**試行錯誤の連続**だ。

これは実際には良くないことだ。道に迷う人がいるのも無理はない。ひどく失望し、行き止まりに突き当たってしまうのも当然だ。

あなたがこの「信仰の取扱説明書」を読もうと決めたということは、人生を見直したいという気持ちの表れです。

あなたはきっと、「もっと何かあるはずだ！」と気づいたのでしょう。

あなたはこう言います。「

私は人生を精一杯生きてきた！地球上のすべての大陸を旅した。家族もいる。家も仕事も車もある。それなのに、すべてがどこか無意味で空虚に感じられる… — それだけなのか？それが全てなのか？私の人生の意味は何なのか？そして、私の目標は何なのか？」

この本は、人生の真の意味、すなわち神と結びつき、キリストの弟子となることを明らかにします。そうすることで、あなたは神によって「義人」と認められ、神に認められた信者となるでしょう。神はあなたを御霊で満たしてくださいます。御霊（聖霊）は、あなたが神と共に永遠の命を得ることを保証してくださいます。

もしかしたらあなたは、すでに人生を新たにスタートさせた一人かもしれません。180度方向転換したのです。そして今、あなたはイエスを傍らに、目に見えない新しい友でありコーチとして、この新しい人生を歩むためのガイドを探しているのでしょう。

もしそうなら、あなたは正しい場所に来ました。この本はあなたのために書かれたものです

。

新しい次元で新しい人生を生きるためのロードマップです。

もしかしたら、あなたは肉体の死後も魂は生き続けることに気づき、この人生を変える決意をしたのかもしれません。そして、あなたは永遠の命を、地獄で敵対者と共に過ごすのではなく、神の栄光の中で過ごしたいと願っているのでしょう。

あなたは、神に至る唯一の道はイエス・キリストを通してであると理解したのです。

イエスはあなたの罪の赦しのために、ご自身の命を犠牲として捧げられました。あなたは、イエスの十字架上の死を、ご自身の罪のための個人的な犠牲として受け入れました。

あなたはこれが神からの賜物であることを知っています。永遠の命は善行によって得られるものではありません。（エペソ2:8-9）

あなたはイエスを人生の主として迎え入れ、今後、イエスの手によって人生を導いてもらうことを決意しました。

はい！あなたは、神があなたに安心と幸福に満ちた人生を与えたいと願っていることを確信しています。

こうしてあなたは人生における新たな始まり、いわば「リセット」を始めました。この改心を通して、あなたは今や神の子となったのです。

新生物：

「ですから、だれでもキリストのうちにいるなら、その人は新しい創造物です。古いものは過ぎ去り、新しいものが来たのです。」

コリント人への手紙第二 5:17

神の子として生きるということは、内面から生まれ変わることを意味します。

神はあなたの名前を命の書に記しておられます！あなたには樂園が約束されています。そこは涙も悲しみも、絶望も暗闇もない場所です。

聖書箇所：ヨハネの黙示録21章と22章を読んでください。特に21章3～7節の箇所を読んでください。

1.3 新しい次元での生活

私たちが生活を根本から見直し、常に神と向き合うようになれば、人生における多くのことが変わるでしょう。

知覚の向上：多くのクリスチャンは、聖霊の支えによる生活を一種の霊的な知覚と表現します。人は導かれているように感じ、何をすべきか、何をしてはいけないかを教えてくれる印象を受け取ります。

神の力の中で生きる：自分の力だけに頼るのではなく、神の知恵と慰めに頼る次元が開かれる。これは人生観や困難への対処法を変える。

永遠の視点：神の子は「現在」だけを生きるのではなく、神の栄光の中で人生が続くという認識を持って生きる。視点は、虫の目線からより大きな全体像へと移り変わる。

探求ではなくアイデンティティを求める：多くの人は、帰属意識や承認を求めている。しかし、神の子として生きる人は、「自分は必要とされ、愛されている」と知っている。これこそが、安定と平安をもたらすのだ。

愛における自由：愛と信頼に基づいて生きるとき、新たな次元が開かれる。

責任と使命：この新しい人生はそれ自体が目的ではありません！神は私たちに、光となり、地の塩となり、希望を伝える者となるという使命を与えてくださいました。

結論として、神の子として新たな次元で生きるということは、視野が純粹に物質的なものから精神的なものへと広がることを意味します。恐怖から自由へ、利己心から隣人愛へ、そして死すべき運命から永遠へと。

1.4神はあなたのすべてを求めています！

そして今、大切なのは神の子として生きる方法を学ぶことです。今、最も重要なことをお伝えしましょう。「**中途半端なクリスチャンであることは全くのナンセンスだ！**」

このことわざがまさにそれを言い表しています。信仰と弟子としての生き方は、中途半端であってはなりません。

それらは、全体的かつ一貫して実践されるべきものです。

「中途半端なクリスチャン」とは、教義を受け入れながらも、それに従って生きない、あるいは部分的にしか実践しない人のことです。そうすることで、信仰はその本質を失ってしまいます。なぜなら、信仰生活とは、全体的に神に向かうものだからです。

信用できない：信仰や価値観を「中途半端に」しか実践しない人は、しばしば信用できない人物に見える。これは内なる葛藤につながる。

献身には常に完全性が求められる。そうでなければ、一貫性の欠如によって崩壊してしまう。

だからこそ、神は中途半端なことをして満足されないのです。心を開いてイエス様のための場所を作りましょう。イエス様はあなたの心に住みたいと願っておられます。イエス・キリストは

あなたの人生で第一位になりたいと願っておられます。イエス様はあなたの考え方を変えたいと願っておられます。イエス様はあなたの人生を変えてくださいます。イエス様はあなたの意見や視点を変え、あなたの性格をより良いものに変えてくださいます。サタンはあなたを説得しようとします。「信仰の人生を送ると、自由を失う！もう自分の好きなようにはできない！」と。しかし、あなたは自分の人生を自分で決められるようになりたいのです！

しかし、それこそがサタンの嘘なのです。この自由はあなたを再び罪へと誘います。神が与えてくださる自由は、決して否定的なものではありません。むしろ、あなたは神に守られ、愛され、支えられていると感じるでしょう。そして、ゆつくりと、これがより良い人生であることに気づくのです。

マタイによる福音書 11:29-30 (HFA)

イエスは言われた。 *「わたしの教えを信じ、わたしから学びなさい。わたしはあなたがたを優しく扱い、だれをも見下したりはしない。そうすれば、あなたがたは安らぎを得るだろう。わたしがあなたがたに負わせるくびきは負いやすく、わたしがあなたがたに求めることは難しいことではない。」*

私からのアドバイス：

人生のあらゆる面において、キリストを第一に考えることは大切です。

遠慮する必要はありません。

むしろ、

神はあなたに人生に対する新たな視点を与えてくださいます。神の視点が突然あなたの視点となるのです。あなたは恩恵を受け、支えられていると感じるでしょう。そして、この「支えられている」という感覚は、あなたをこれまで以上に幸せにしてくれるでしょう。

2. 人生の意味と目的

本書を始めるにあたって、まず人生における根本的な問いとは何かを考察することから始めるのが理にかなっていると思う。

同時に、私たちはこの問いに対する答えを見つけ出すつもりです。

2.1 人生における根本的な問い：

既に述べたように、神は私たちを知的な存在として創造しました。その理由の一つは、私たちがなぜ存在するのかを問い、理解できるようにするためです。そこで私たちは自問します

1. 神はなぜ人類を創造したのか？
2. 私たちはなぜ生きているのか？
3. 私の人生の意味と目的は何ですか？

2.1.1 神はなぜ人間を創造したのか？

神が地球とそのすべての自然要素を創造したことは疑いの余地がない。人工知能ソフトウェア「ChatGPT」でさえ、神が存在することは純粋な論理であると述べている。なぜなら、すべての始まりとなった何かが存在したはずだからだ。

創世記1章26節には、神がこう言われています。

「さあ、我々の形に、我々に似せて人を造ろう。そして、彼らに全地、すなわち海と天と地の獣を支配させよう。」

興味深いのは、神が「我々」と言っていることです。つまり、当時から神は単一の存在ではなく、三位一体（三位一体）として三つの位格を持っておられたのです。

神は私たちをご自身の形に創造されました。そして、動物よりも人間に多くのものを授けてくださったのです。

人間と動物の違いをいくつか挙げます。

自己肯定感と認知能力：人間は強い自己肯定感を持ち、自分の行動の結果を振り返り、認識する能力を備えています。動物は、この能力のごく基本的な形態しか示しません。

言語：動物も互いにコミュニケーションをとるが、人間の言語ははるかに多様だ。ニュアンスや象徴性だけでなく、嘘や詩も表現できる。動物の言語とは比べ物にならないほどの飛躍的な進歩と言えるだろう。

将来計画と時間感覚：人々は長期的な計画を立て、戦略を練り、既に起こったことを再構築することができる。

まだまだ挙げきれないほどたくさんあります…

結論として、私たちを動物と決定的に区別するのは、知性だけでなく、思考能力である。つまり、全体を俯瞰的に捉え、結果を認識し、象徴を理解する能力が重要となる。

2.1.2 私たちの中に宿る神性：

神はすべての人間に神聖なもの、すなわち魂を授けた。魂は神によって私たちの肉体に宿された。

聖書の一節：（創世記 2:7）

「そして神は、地の塵から人を形造り、その鼻に命の息を吹き込まれた。こうして人は生きるものとなった。」

したがって、人間は物質から成り立っている。しかし、神の生命の息吹を通してのみ、人間は魂を得る。

魂 彼女は不死身だ。彼女は私たちの中に宿る神聖な部分だ。彼女は意識、道徳的責任、そして神との関係を担う存在だ。

関係性：神は私たち人間を、関係性を築く能力を持つ存在として創造されました。これは、私たちが神との関係を築くためです。それは夫婦関係に似ています。男性と女性の関係は、お互いが相手に完全に身を委ねて初めて成り立つものです。

したがって、あなたと神との関係において中途半端な態度は通用しません。あなたは完全に神に身を委ねる必要があるのです。

自らを現すため：神は人類を創造したのは、人類に自らを現すためである。神は人類を愛し、人類を慈しみたいと願っている。

私たちの使命は何でしょうか？私たちの使命は、神の愛に報い、地球を守り、保全することです。

パウロがエフェソの信徒たちに書いたことを読んでみてください。彼の言葉は今日でも有効です。

エフェソの信徒への手紙2章8-10節

「あなたがたは恵みによって、信仰を通して救われたのです。それはあなたがた自身の力によるものではなく、神からの賜物です。あなたがた自身の行いによるものではありません。ですから、だれも誇ることをないようにするためです。」

キリスト・イエスにあって、私たちは神の傑作です。神は私たちを真に善いことを行うために創造されました。神は私たちのために善い行いを用意してくださり、私たちがそれらによって人生を形作ることができるようにしてくださいました。

2.1.2 私たちの人生の目的は何ですか？

パウロはこの質問に対し、先ほど読んだ聖句で答えています。

「…私たちは、神が私たちのために備えてくださった善い行い、すなわち、真に善い行いを
行うのです。」（エペソ2:10）

しかし、他にも理由があります。

あなたは神との関係を築くために生きているのです。神はあなたを求めています！神はあなたが神の共同体の一員となることを望んでいます。神はあなたから賛美され、崇拝されることを望んでいます。私たちは皆、神に仕えるように定められています。

この地上でも、そして特に後の永遠の命においても。

それゆえ、神はあなたに不滅の魂を与え、あなたが永遠に神と共に栄光の中で生きることができるようにしたのです！

あなたは神聖な存在です。ですから、あなたの真の故郷はこの地球ではなく、神のもとなのです。

2.1.4 私の人生の意味とは何か？

人は皆、神を見出し、神の子となるためにこの世に生まれてくる。それが人生の真の意味だ。しかし、誰もが神を見出すわけではない。

多くの人は神に興味を示さず、「神なんていない。神なんて必要ない」と言う。

こうした人々は人生を無駄に生きており、神と共に栄光に満ちた永遠の命を過ごすことはできないだろう。

あなた **しかし**、あなたは喜ぶことができます！あなたは神を見つけたのです！あなたは今や神の子であり、天国の市民なのです。

今大切なのは、あなたが神の子としてこの地上でどのように生きるかを学び、神に喜びをもたらすことです。

2.1.5 私の人生の目標は何ですか？

私は神について話す人々にいつも次のように伝えています。

「人生の目標は、**死後の世界への旅である。**」

神はあなたを創造しました。あなたは神の創造物です！神はあなたのために素晴らしい人生の道を用意してくださいました。神はあなたを通してこの地上で善行を行いたいと願っています。しかし、神はあなたが神に完全に献身することを望んでいます。あなたがこの世で行うすべての善行は、神への愛から生まれるものです。

聖書箇所：マタイによる福音書 25:40

「まことに、あなたがたに言います。わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者の一人にしたことは、わたしにしたことなのです。」

幸せであること：神と共に生きる人生はあなたを幸せにします。

あなたは神の温かさを感じ、神の安心感を覚えます。神と共に生きる活動的な人生ほど素晴らしいものはありません。そのような人生は刺激的です！

車の鍵：イエスに車の鍵を渡してこう言います。「私の車を運転してください。あなたを信じています。あなたは道を知っていて、私を幸せにしてくれると信じています！」

刺激的な人生：だからこそ、神と共に生きる人生は実に刺激的なのです！未来に何が起こるかは誰にもわかりません。しかし、信頼することはできます！神があなたに求めることはすべて、あなたに完全にふさわしいものです。神は偉大な愛をもって、決してあなたを圧倒することはありません。そして、神はあなたが与えられた務めを果たすのを助けてくださいます。

パウロはこう言っています。（ローマ人への手紙 8:28）

「そして、私たちはこのことを知っています。神を愛する者たち、すなわち、神のご計画に従って選ばれた者たちのためには、神はすべてのことを働かせて益としてくださり、益となるようにしてくださるのです。」

再び神と共にいるために：

こうして私たちは、神が私たちに示してくださることを日々実行しながら生きていきます。そうすることで、私たちは年を重ねていきます。そして、私たちは死を恐れません！**それどころか！**私たちは死を待ち望んでいると、誰にでも言えます！死後、ほんの一瞬でも、私たちは栄光の中で神と共にいるのです。

したがって、

人生の目標は、幾度もの転生である！

3. 神のあなたへの愛

ルカによる福音書15章はもう読みましたか？

そこでイエスは、99匹の羊を残して迷子になった1匹を探しに行く善良な羊飼いの話を語ります。羊飼い

は迷子になった羊を見つけ、家に帰って近所の人たちにこう言います。「私と一緒に喜んでください。私の羊は迷子になっていましたが、今、見つけました！」そうです、神は私たちが想像する以上に、一人ひとりを愛しておられるのです。

確かに、神は常にあなたを限りなく愛しておられます。幼い頃から、神は繰り返しあなたを御自身のもとへと引き寄せてこられました。

神の子となること：神はあなたが神の膝の上に座って、その温かさと安心感を感じてほしいと願っています。そして、神はあなたを深く愛しているからこそ、これらすべてをしてくださるのです。

彼は、無限に偉大なる神であり、全宇宙の創造主です！彼はあなたのことも気にかけてくださっているのです！素晴らしいと思いませんか？

あなたは神のアイデアです。あなたは偶然の産物ではありません。あなたは神の思索の結晶です。しかも、実に素晴らしいアイデアです！神はあなたを創造し、常にあなたを守り、見守ってこられました。

あなたが持っているもの、そしてあなた自身は、すべて神のおかげです。あなたの容姿、知性、個性、魅力…そして人生における成功も。神はあなたの運命を導き、あなたを今のあなたにしてくださったのです。

あなたはそれを知っていますか？

神はあなた方にすべてを与えてくださった。意志も、行動する力も、すべて神から来るのだ。（フィリピ2:13）

だから神はすべての人を愛している。だから神は、神と一切関わりたくない人々をも愛している。そう、神は純粋な愛なのだ。

「神は、実に、世を深く愛されたので、御子を与えられた。それは、御子を信じる者が一人も滅びることなく、永遠の命を得るためである。」ヨハネによる福音書 3:16

「神」と言うとき、「愛」と言ってもいいでしょう。神と愛は同じものです。

さて、あなたはこう反論するかもしれません。「なぜ神は戦争や飢饉、悲惨といった恐ろしいことを許すのか？」このテーマについては、第21章で詳しく解説していますので、ぜひお読みください。

4. 感謝、優雅さ、謙遜

自分が持っているものすべて、そして自分を形作っているものすべてが神の恵みによるものと気づけば、感謝する十分な理由が生まれる。

うぬぼれるのはやめなさい。自分の功績を自慢するのはもうやめるべき時が来た。

FacebookやInstagramなどで、自分がどれほど素晴らしい人間かをアピールするのはやめましょう。虚栄心を満たすためだけに、自撮り写真を世界中に発信するのもやめましょう。

神に栄光を捧げましょう！もちろん、あなたはこれからもそのような活動が続けることができます。しかし、その功績を神に帰してください。ソーシャルメディアに

「これらすべてを可能にしてくださったのは神です！栄光と賛美はただ神のみにあります！」と投稿して、皆に読んでもらいましょう。

フェイスブックやインスタグラムでこんな投稿を読んだことが一度もないなんて、不思議だ…。

真剣に言いますが、あなたが人生で成し遂げたことはすべて、神があなたに与えてくださったものなのです。

傲慢さや自己顕示欲は神にとって忌まわしいものです。それはまるで他人の功績を自分のものにするようなものです。

お金：お金さえもあなたのものではありません。それは借り物です。具体的には、生活費を賄ったり、良いことをするために借りるものです。決して自慢するために使うものではありません。

ちなみに、神はあなたが収入の少なくとも10パーセントを善行に使うことを望んでいます。神はあなたがお金を稼ぐことを可能にしました。神はあなたにお金を稼ぐ能力を与えました。

良いアドバイス：1人か2人の子供のスポンサーになってみませんか？例えば、児童支援団体 www.compassion.com で子供のスポンサーに申し込むことができます。あるいは、お金を使って何か良いことをするのも良いでしょう。

イエスはこう言っています。

「まことに、あなたがたに言います。わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者の一人にしたことは、わたしにしたことです。」 マタイによる福音書 25:40

そしてあなたの健康：健康は決して当たり前のことではありません。毎朝、健康で目覚め、痛みを感じないことに神に感謝しましょう。病院に行ってみてください。そうすれば、健康であることがどれほど恵まれたことか分かるでしょう。

何事も当然のことではない。すべては神の恵みにかかっており、神は日々あなたにその恵みを与えてくださる。

感謝：この件が明らかになった今、人生に対する新たな姿勢を身につける時です。今日から神に感謝を捧げましょう！

しかし、そのためには、考え方や人生に対する姿勢を変える必要があります。謙虚になり、あらゆることに感謝しましょう。それは決して当たり前のことではありません。

優しさ、愛、慈悲：感謝と謙遜は、優しさ、愛、慈悲と密接に関係しています。傲慢さ、利己心、自己愛を打ち砕きましょう！

ネガティブなことにも感謝しましょう：ネガティブなことにも感謝すべきです。あなたを悩ませるものや、実際には望んでいないことにも感謝すべきです。

例えば、なかなか消えない苦しみ。神はしばしば、そのような「とげ」をすぐには取り除いてくださらない。時には全く取り除いてくださらないこともある。

ことわざ： *「苦難は人を強くする。」*

そういったことは、私たちを教育し、私たちがどれほど神に依存しているかを常に意識するのに役立つ。

聖書箇所：コリントの信徒への手紙二 12章7-10節をお読みください。

そこでパウロは、神が彼に言われた言葉を述べている。 *「わたしの力は、あなたの弱さの中でこそ完全に現れる。」*

イエスはあなたを守ってくれます。神は常にあなたのために最善を尽くしてくださいます。
たとえあなたが時に「暗い谷」を歩んだり、「いばら」を越えたりしなければならない時でも、イエスはあなたを守り、支えてくださいます。

信者である私たちにとって最大の強みは、
神の限りない愛を感じられることです。たとえ私たちが過ちを犯したとしても、常に神の愛に満ちた腕の中に身を委ねることができるのです。

これほどまでに支えられていると感じることで、どれほどの自信と信頼感が生まれるか、お分かりでしょうか？ あなたには何も、絶対に何も起こり得ないのです！

聖書箇所：ローマ人への手紙8章28節（HFA）をお読みください。

「しかし、私たちが知っていることはただ一つ。神は、神を愛する者たちのために、すべてのことを益となるように働かせてくださる。これは、神が新しい命のための計画に従って選ばれたすべての人々に当てはまる。」

課題／ヒント：ローマ人への手紙全体を読んでください！ 繰り返しますが、これは新約聖書の中で最も価値のある文書の一つです。

使徒たちが教会に宛てた他の手紙にも、貴重な知識の宝庫が詰まっています！すべての手紙を読み終え、重要だと思う箇所にマーカーを引くまで、読み進めてください！

ガラテヤ人への手紙も読んでください。

エフェソの信徒への手紙も読んでください。

フィリピ人への手紙も読んでみてください！

ヘブライ人への手紙も読んでください。

そして、といった具合に…

真剣に：

すべての手紙を読んでください。何度も何度も！これらの手紙は信仰の基盤を形成しています。そこには神の知恵が満ち溢れています。

具体的には、目覚めたら感謝の気持ちで一日を始めましょう。健康で痛みもなく目覚めることができたこと

に神に感謝しましょう。夜の間、神があなたと共にいて、あなたの体を強くしてくださったことに感謝しましょう。神の愛に感謝しましょう。神が今日あなたを愛し、今日あなたがど

んな良いことができるかを示したいと思っていることに感謝しましょう。あなたが健康であることに感謝しましょう。あなたのパートナー、家族、子供、仕事に感謝しましょう…

数え切れないほどあります。聖書にもそれに関する箇所は数え切れないほどあります。謙遜と感謝の心は、神に近づくための正しい姿勢です。

より具体的に言うと、毎日神に、謙虚で感謝に満ちた人生観を与えてくださるよう祈りましょう。あらゆる瞬間において、すべては神から来るものだ意識しましょう。神に、あなたの傲慢さや自己顕示欲を取り除き、優しく、愛情深く、感謝に満ちた心を与えてくださるよう祈りましょう。

感謝に関する聖書の言葉：「常に喜びなさい。絶えず祈りなさい。どんな時にも感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって、あなたがたに対する神の御心です。」

テサロニケ人への手紙第一 5:16-18

「何事も思い煩ってはなりません。どんな時でも、祈りと願いをもって、感謝とともに、あなたの願いを神に伝えなさい。そうすれば、すべての理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあって、あなたの心と思いを守ってくれるでしょう。」フィリピ4:6-7

「主に感謝せよ。主は善い方であり、その慈しみはとこしえに続く。」歴代誌上 16:34

「あなたのすべての行動、つまり言葉と行いは、イエスがあなたの主であることを示していなければなりません。」

あなたがたはキリストと結びついているので、あらゆることについて父なる神に感謝することができるのです。（コロサイ3:17）

5. 神とは誰か？

神の本質に関する問いは、あなたと神との個人的な関係において非常に重要な意味を持ちます。

親密な関係を築きたいと願っています。なぜなら、神は言葉では言い表せないほどあなたを愛しているからです。

神」と言うとき、実際には「父なる神」を指しています。

旧約聖書や映画、絵画などでよく知られているもの。

5.1 トリニティ：

根本的に、「神」は三位一体である。三つの人格を持ちながらも、一つの統一体である。すなわち、

- 父なる神（創造主なる神）
- 神の子（イエス・キリスト）
- 神、聖霊（神の声）

この三人は同一の本質を持つ。つまり、三柱の神ではなく、三つの人格的顕現を持つ一つの神である。

水と同様に、水は液体、固体の氷、気体の水蒸気として存在する。

イエス：イエスについてもっと詳しく話すのは、次の章です。

聖霊とは、ペンテコステの日に神が私たちに送ってくださった「助け手」であり、あなたがイエスを主として受け入れる時に、あなたの魂に宿る方です。

聖句：エペソ人への手紙4章30節を読んでください。できれば章全体を読むことをお勧めします。なぜなら、この章は非常に価値のある内容だからです。

信仰を通して洞察を与えてくださるのは聖霊です。聖霊はあなたとの繋がりを明らかにし、あなたが信仰を深めることを可能にしてくださいます。

聖霊は神の声であり、良心、幻、思考、感情を通してあなたに語りかけます。これについては第7章で詳しく説明します。この三位一体は神聖な統一性です。

5.2 神の本質：

旧約聖書を読むと、神の考え方や性質について理解が深まります。イエスについて考えると、この理解はさらに完成します。

イエスのご自身についてこう言われた。 **「私を見た者は父を見たのだ。」**（ヨハネによる福音書 14:9）

そして、 **「わたしと父とは一つである。」**（ヨハネによる福音書 10:30）

したがって、子なるイエスと父なる神の性格特性は同一であることは明らかである。

私のアイデア：聖書に書かれている父なる神についての記述に基づくと、私は神を光と愛と聖性の雲のような存在として想像します。

臨死体験から生還した人々は、しばしば強烈な白い光について語る。その光は強烈ではあるものの、眩しくはなく、強烈で遍在する愛を放っているという。

5.3 神の属性

5.3.1 神は全能であり、全知であり、遍在である。

全能：神は望むことは何でもできる力を持っている。

全知全能：神は過去、現在、未来を知っています。

すべての人のあらゆる思考を知っています。神は何も忘れません。私たちは神から隠れることはできません。神はあなたの頭にどれだけの髪の毛があるかさえ知っていて、あなたの人生のための完璧な計画を用意しています。

彼は雨を降らせ、再び太陽が輝くようにする。そして、例えば鳥の生息環境が変化し、そうでなければ餌を見つけられなくなるような場合には、鳥のくちばしを適応させることさえある。（ミクロ進化）

遍在：神は同時にあらゆる場所に存在します。神は空間や時間に縛られません。

神にはルールがあり、彼は法律を制定した。彼は裁判官である。彼は正義であり、聖なる方であり、愛に満ちている。

規則と法律：神は宇宙とそのすべての自然法則を創造されました。そして、神は被造物が従うべき規則と法則も定めておられます。

神は、罪はイエスの犠牲的な死によってのみ贖われると仰せられたので、あなたはイエスに罪を取り除いてくださるよう祈らなければなりません。それが神の定めです。

ですから、イエスの赦しを受け入れ、自分の人生をイエスに委ねる必要があります。そうして初めて、あなたは神の前で義とされるのです。イエスは、あなたが通らなければならない神への扉です。これを拒むなら、あなたは神の子になることはできません。イエス・キリストの赦しを通してのみ、あなたは神の前で義とされるのです。

目に見えないからといって、神を軽んじてはいけません。

彼は全能である。彼は全世界を創造した。すべては彼の望むように起こる。

裁判官：神は、この地上に生きたすべての人がいつか裁かれると仰せられました。そして、神はこの裁きの役目をイエスに委ねられました。

コリント人への第二の手紙 5章1節：

「私たちは皆、裁き主であるキリストに裁きを受けなければなりません。そして、地上で行った行い、良い行いであれ悪い行いであれ、それぞれ相応の報いを受けるのです。」

正義：神は人に関係なく裁きを下す。善悪は神にとって相対的なものではない。

聖性：神は完全に清く、欠点も罪もありません。神の聖性は不浄とは相容れません。すべての人類は墮落によって神の前で不浄な存在となっています。

だからこそ、救済が必要なのだ。

愛：すでに述べたように、神は純粋な愛です。神の愛はあまりにも偉大なので、「神」と言うときは「愛」と言ってもいいでしょう。

彼はすべての人を限りなく愛しています。たとえあなたが彼を千回も苦しめ、裏切ったとしても、彼はあなたを愛しています。

これは純粋な愛です。神ご自身が、罪の赦しを通して、私たちが再び神の前で義となれるようにして下さいます。神は、ご自身の 御子は、神であるイエス・キリストが十字架上で犠牲の死を遂げるために、この世に遣わされた。

警告：多くの善行を積んだとしても、正直な生活を送ったとしても、多額の寄付をしたとしても、あるいは絶えずロザリオを唱えたとしても、神の前で義と認められるわけではありません！

行いによって神の前で義とされることはできません。神の前での義は、神があなたに与えてくださる賜物です。あなたが神の賜物を受け入れるとき、あなたは神の前で義とされるのです。では、

神の賜物とは何でしょうか？

それはイエス・キリストです。神の御子イエス・キリストを信じ、イエスがあなたに与えてくださる罪の赦しを求めることによって、あなたは神の賜物を受け入れるのです。

善行を行うのは、救いを買うためではなく、イエス様を愛し、何かお返しをしたいという気持ちからです。善行は喜びをもたらします！

重要な聖句：「神は、実に、世を深く愛されたので、ひとり子を与えられた。それは、御子を信じる者が一人も滅びることなく、永遠の命を得るためである。」

ヨハネによる福音書 3:16

5.3.2 神は創造的で生命を与える存在である。

神は無から宇宙を創造した。創世記1章を読んでください。

科学者たちはついにこの段階に達した。彼らはビッグバンについて議論しているのだ。

これまで彼らは、宇宙がどのように創造されたかという問いに対する答えとして、神の存在を否定してきた。しかし今や、もはや神の存在を避けることはできない。結局のところ、神以外に誰がビッグバンを引き起こしたというのだろうか？

神は驚くほど創造的で、機知に富み、巧みなデザインと高度な技術を好む。そして、神は秩序を重んじる。

自然の中に出て、周りを見渡してみてください！神が創造したものは驚くべきものです。その美しさはただただ圧倒的です！最近、お店のショーウィンドウにライオンの頭のポスターを見かけました。その動物の美しさ、優雅さ、そして野性味が、その後も長い間私の心に響きました！

すべては繋がっています。無駄なものは何もありません。すべてが必要なのです。そして、すべては循環します。これが単なる偶然だと言う人がいるでしょうか！

神は愛である。真に神が愛であると認識する人は多い。もし創造主が愛に満ちていなければ、誰がこれほどの調和と美しさを創造できるだろうか。

自然の中には、神の本質を非常によく見出すことができる。

も同じです。神によって創造された私たちは、創造する能力を持っています。私たちもまた、創造物が美しいことを望みます。

これは、私たちが神に似せて造られていることのもう一つの証拠です。神が創造したものはすべて善であり、無駄なものは何もありません。すべては循環し、すべてが何百万もの歯車を持つ機械のように、ぴったりと調和しています。

そして男：

先に述べたように、人間は神の似姿に創造されており、知性、意志、感情、そして責任感を備えている。

5.3.3 神は人格を持ち、関係を築くことができる

抽象的な「世界精神」や非人格的なエネルギー、あるいは単なる「自然」とは異なり、キリスト教の神は親しみやすく、耳を傾け、語りかけ、慈悲深く、応えてくださる存在です。

神はあなたとの関係を望んでおられます！

結論：神は単なる「超越的な力」ではなく、生ける、人格を持つ、聖なる、愛に満ちた神です。神は御子イエス・キリストを通して、私たちに自らを啓示されました。

6. イエスとは誰か？

6.1 三位一体の神の一部であるイエス

イエス・キリストは受肉する以前から神の姿で存在していました。キリストは神の子です。キリストを通して、すべてのものが創造されました。地球全体と、その上にあるすべてのものが創造されたのです。キリストは三位一体における「執行者」のような存在です。

イエスの弟子であった使徒ヨハネは、それを次のように描写している。

「初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。言は初めから神と共にあった。万物は言によって造られた。言によらずに造られたものは一つもない。」

ヨハネによる福音書 1:1-3 (HFA)

イエスの役割を理解するために、このイメージが役立ちました。

父なる神は太陽、つまり暖かさ、光、そして生命の源を表していると想像してみてください。

イエス・キリストは太陽の可視光線、つまり地上に届く光を表しています。

誰も太陽を直接見れば目がくらんでしまうように、私たちも神の栄光をそのまま受け止めることはできません。しかし、光（イエス）を通して、太陽は目に見えるようになり、認識できるようになり、生命を与える存在となるのです。

6.2 私たちの罪を赦してくださるイエス

聖書的根拠：

旧約聖書は、人類に救いと罪の赦しをもたらすメシア（神によって遣わされた救世主）の出現を様々な箇所ですでに告げています。例えば、キリストの約750年前、イザヤは次のように記しています。イザヤ書53章4-6節（ルター訳）：

「まことに彼は私たちの苦しみを負い、私たちの悲しみを担った。しかし私たちは彼を、神に打たれ、神に苦しめられた者と考えた。

しかし彼は私たちの背きのために刺し貫かれ、私たちの咎のために打ち砕かれた。

「私たちに平和をもたらす懲らしめが彼の上にあり、彼の傷によって私たちは癒された。」

私たちは皆、羊のように迷い、それぞれ自分の道にそれて行った。しかし主は、私たちすべての罪を彼に負わせた。

これらすべては、預言者イザヤが第53章で詳細に述べたとおり、イエスにおいて起こった。約2000年前、神であるイエスは人となられた。イエスはベツレヘムの馬小屋でマリアの子として生まれた。

ヨハネはそれを次のように説明しました。ヨハネ1:14 (HFA)

「言葉は肉となって私たちの間に宿った。私たちは、神の独り子に属する神の栄光、すなわち神の栄光を、自ら見た。そして、御子を通して、神の恵みと真理が私たちにもたらされた。」

6.3 十字架：身代わりの犠牲の死

イエスは十字架上の死を通して、世の罪を自ら背負われた。イエス・キリストを信じ、その赦しを受け入れる者は皆、神によって義と認められる。

》罪がすべての人を支配して死をもたらしたように、今は神の恵みが支配し、私たちの主イエス・キリストを通して永遠の命を与えてくれます。(ローマ5:21、新国際版聖書)

また別の箇所では、(1テモテ2:5-6)

「神は唯一であり、神と人との間には唯一の仲介者、平和をもたらすイエス・キリストがおられます。」彼は私たち全員を悪の力から解放するために、自らの命を身代金として捧げた。

神の御前で私たちが義と認められるための神の計画の中心にあるのは、ゴルゴタの十字架です。十字架上で、神ご自身であるイエスは、身代わりの死を遂げられました。つまり、私たちが受けるべき罰を、イエスがご自身で引き受けてくださったのです。

イザヤ書 53:5: 「彼は私たちの背きのために刺し貫かれ、私たちの咎のために打ち砕かれた。私たちに平和をもたらす懲らしめが彼の上にあり、彼の傷によって私たちは癒された。」

この犠牲を通して、父なる神は人々が再び神の前で義とされる道を開いてくださった。

6.4 復活；イエスは生きている！

イエスが亡くなってから3日目に、神はイエスを死からよみがえらせました。イエスは復活しました。イエスは生きておられます！私たちはイースターにイエスの命が続いていることを祝います。イエス自身は弟子たちに、自分が殺されるが3日後に復活すると何度も告げていました（マタイ16:21/17、22-23、マルコ8:31、ルカ9:22）。イエスの

復活はキリスト教信仰の中心的な柱です。復活がなければ、イエスへの私たちの信仰は無意味です。もしイエスが死んだままだったら、私たちは父なる神との仲介者を持たず、罪を赦してくれる人もいなく、生ける救い主もいなくなってしまうでしょう。

もしイエスが死んだままだったら、私たちもいつか生きるという証拠はなかったでしょう。彼の復活は、イエスが神の性質を持っていたことを示しています。

想像してみてください。

ある王が、臣民の自由を保障する新しい法律を制定したとします。もし王がその文書に署名するのを忘れてしまったら、この法律は無効になってしまいます。

では、イエスについて考えてみましょう。

イエスの生涯と、彼が生涯で成し遂げたすべてのことが、この法律の本文だと想像してみてください。

もしイエスが死んだままだったら、署名のないこの法律と同じことになります。どんなに優れた法律の本文も無意味になってしまうでしょう。法律には何の効力もなかったのです！

イエスの復活によって、神はこの文書に署名し、封印したのです！

イエスは復活されました。ですから、私たち人間も復活するでしょう。コリントの信徒への手紙一15章をお読みください。

イエスは栄光のうちに帰還し、神の右の座に着かれた。（ローマ人への手紙 8:34）イエスは生きておられるので、私たちはイエスと関係を持つことができるのです。

6.5 神と人との仲介者としてのイエス：

イエスにおいて、神ご自身が人間となりました。これによって、イエスは聖なる神と罪深い人類との間の隔たりを埋めてくださいます。イエスは神の側面と人間の経験の両方を知っています。だからこそ、神はイエスを神と人類との間の仲介者として任命されたのです。

大祭司：ヘブライ人への手紙では、イエスは神の前で私たちを代表する大祭司として描かれ

ています。だからこそ、私たちクリスチャンは「イエスの御名によって」祈るのです。イエスは私たちと神とのつながりです。

これは**重要**です。イエスは信仰深いクリスチャンの要です。イエスは私たちの主です。イエスは私たちの贖い主です。イエスは私たちの友であり、導き手であり、慰め主です。

6.6 適用：信仰による恵み

救いは誰にでも自動的に与えられるものではありません。イエスがあなたの罪のために死んでくださったことを信じ、あなたのために赦しを求めなければなりません。イエス・キリストを主であり救い主として受け入れる者は誰でも赦しを受け、神の前で義とされ、神の子となるのです。

聖書の一節 「もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正義なお方ですから、私たちの罪を赦し、すべての不義から私たちを清めてくださいます。」（ヨハネの手紙一 1:9）
「あなたがたは恵みによって、信仰を通して救われたのです。それはあなたがた自身から出たものではなく、神からの賜物です。」（エフェソの信徒への手紙 2:8）

6.7 イエスが自身について述べた言葉：

「わたしは門である。わたしを通して入る者は救われる。」（ヨハネによる福音書 10:9）
「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことはできない。」（ヨハネによる福音書 14:6）

「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。」（ヨハネによる福音書 11:25）

7. 聖霊とは誰ですか？

聖霊は、父なる神、子なる神（イエス・キリスト）と並ぶ第三位格です。聖霊は、神性を持つ独立した位格であり、永遠であり、遍在であり、全知です。

聖霊は、父なる神やイエス・キリストのような存在です。目に見えない助け手であり、教師であり、私たちに語りかける神の声です。

7.1 聖書的基礎：

聖霊は最初から存在していました。

聖書の一節： *「地は形がなく、むなしく、神の霊が水面を覆っていた。」*

(創世記1章2節)

7.2 旧約聖書における聖霊：

旧約聖書において、聖霊は目立った役割を果たしていません。聖霊は祭司、裁判官、王、預言者たちに超自然的な業を行う力と洞察力を与える役割を担っています（例：ダビデ王、モーセ、イザヤ、サムソン、エリヤ、エリシャ）。

7.3 新約聖書における聖霊

マリアは聖霊によって妊娠する（ルカ1:35）。

イエスの洗礼：聖霊が「鳩のように」イエスの上に降りてくる（マタイによる福音書3章16節）。

イエスは弟子たちに、まもなく自分は彼らと共にいなくなり、聖霊が自分の代わりに来ると告げました。聖霊は助け手であり、教師となるでしょう。ヨハネによる福音書14章16-17節をお読みください。

ペンテコステ：（使徒行伝2章）エルサレムでイエスの弟子たちに聖霊が注がれる。

7.4 信者である私たちの中に宿る聖霊

聖霊は、信仰を持つクリスチャンの生活において、中心かつ重要な役割を担っています。

聖霊なしには、真のイエスの弟子となることは不可能です。

回心すると、神はあなたに聖霊を与えてくださいます。たとえその時あなたがそれを感じられなくても、聖霊はあなたの人生に入り込んでくださいます。

神の印：聖書は、聖霊が神の印であると述べています。（エペソ4:30）

神があなたに聖霊を与えてくださるという事実は、神があなたをご自身の子と見なし、あなたが永遠の命を得たことの証です。 *あなたは今、神によって「印」を押されたのです。

「あなたがたは真理の言葉、すなわち救いの福音を聞いて信じたので、約束の聖霊によってキリストから印を押されました。聖霊は、わたしたちの相続財産の頭金であり、神の所有物を完全に贖う保証です。」 エペソ1:13-14（コリント第二1:22、エペソ4:30も参照）

7.5 聖霊は私たちの中でどのような働きをするのか？

7.5.1 内なる再生と生まれ変わり：

あなたが神を信じるようになったこと、そして今、あなたが人生を立て直し、イエスと共に歩む準備ができたことには、聖霊が大きな役割を果たしました。

聖霊はあなたの良心を通してあなたに語りかけ、あなたの中にこの新たな始まりをもたらしました。聖霊はあなたの中に信仰を生み出し、強め、広げてくださいます。真の信仰は聖霊の働きなしには成り立ちません。

7.5.2 信仰とアイデンティティの確信：

ローマ人への手紙 8章16節： 「御霊ご自身が、私たちが神の子どもであることを証ししてください。」

あなたが今や神の子であり、回心を通して神の栄光の市民権を与えられたという確信を与えてくださるのは、聖霊です。このように、聖霊はキリストにおけるあなたのアイデンティティを強め、あなたが救いについて抱いているかもしれないあらゆる疑念を払拭してくださいます。

知っておくと良いこと： サタンは、あなたが決して神の子ではないと絶えずあなたに信じ込ませようとします。また、あなたが祈ったり、イエスと語り合ったりすることを妨げようともします。

7.5.3 日常生活におけるマネジメントとリーダーシップ：

ローマ人への手紙 8章14節： 「神の霊に導かれる者はみな、神の子どもです。」

聖霊は導き手として働きます。聖霊はあなたの人生における神の声です。神は聖霊を通してあなたに語りかけます。

こうした言動は、さまざまな形で現れる可能性がある。聖霊は通常、良心の繊細な声を通して語りかけます。私の場合、それはほとんどが突如として湧き上がる衝動やひらめきです。時には印象として、時にはただ心に浮かぶアイデアやビジョンとして現れます。

また、聖書に対する理解を深め、多くの洞察を与えてくれるのも聖霊です。

日々の助け：聖霊は、あなたの日々の実践的な助けです。聖霊は、あなたに必要なこと、なすべきことを常に教えてくれる、優しい声です。

このように、聖霊はあなたが神の御心に従って人生の決断を下せるよう、実際に助けてくださるのです。

実に心強いことです。聖霊は私たちに語りかけ、人生を通して私たちを導き、方向づけてくださいます。それは本当に心強いことです。聖霊は地図であり、道標であり、羅針盤でもあるのです。

何か私にアドバイスをいただけますか？

あなたはいつでも彼に尋ねることができます。「聖霊よ、私は今何をすべきでしょうか？何をすべきか、どうか私を助けてください！」このような生き方がうまくいくのは、あなたが真に聖霊に満たされ、聖霊があなたの中で力強く成長している時だけです。結局のところ、あなたがイエスに頼ろうと聖霊に頼ろうと、どちらでも構いません。あなたの祈りは必ず聞き届けられます。

警告！もしあなたが罪によって聖霊を悲しませるなら（あなたはまだ罪を犯すことがあるかもしれません）、聖霊はあなたから離れ、日常生活におけるあなたの助け手ではなくなってしまうでしょう。

それどころか、サタンはこのようにして生じた空白を利用して、あなたの魂に再び足がかりを築き、あなたを自分の支配下に引き戻そうとするのです。

あなたは人生を新たに始め、これからは神を人生で第一に考えたいですか？ さあ、今すぐ、神との新しい生活を妨げるものすべてを、あなたの人生から捨て去りましょう。

心配しないでください。聖霊が、あなたが手放すべきものを示してくれます。

つながりを保ちましょう：常にイエスと聖霊の臨在の中にいましょう。これがあなたの新しい日常生活です。二人の助け手を常に心に留め、イエスとつながりましょう。信仰において、常につながりを保ちましょう！

このことを示す画像を以下に示します。

弟子たちは夜、ガリラヤ湖を舟で渡っていました。夜明けに、突然、水の上を歩く人影が見えました。

彼らは怖くなり、幽霊だと思いました。しかし、その人影が近づいてくると、イエスだと分

かりました。ペトロは感激し、イエスに「こちらへ来てください！」と呼びかけました。イエスは「来なさい！」と答えました。ペトロは舟から降り、実際に水の上を歩くことができました。

しかし、イエスから目を離し、風に驚いたペトロは沈み始めました。「主よ、助けてください！」とペトロは叫びました。イエスは手を伸ばしてペトロをしっかりと掴み、沈まないようにしました。

これは私たちにとって教訓となるはずです。常にイエスに目を向け続けましょう。決して邪魔をしてはいけません。そうすれば、私たちに何も起こりません。

人生に対する新たな視点：信仰に基づいて生きることは生き方そのものです。それは単なる新しい趣味ではありません。「さあ、またキリスト教徒として生きたい気分になったから、引き出しを開けてイエス様を取り出そう」なんて言えるわけじゃないんです。

、時々演奏したり、時々演奏しなかったりできるような**楽器ではありません**。毎日、イエス様と共に全力で生きよう！常に聖く、神に喜ばれる生活を送ろう。耳を大きくしよう！聖霊の声に耳を傾けることに慣れよう。

聖霊があなたの中で成長してくださるよう、毎日祈り求めましょう。聖霊の声を聞くことができるよう、聖霊に祈り求めましょう。

7.5.4 聖化と人格の変容：

手紙 5:22-23：「**御霊の実とは、愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、忠実、柔和、自制です。**」

生きるならば、聖霊はあなたの人格を変えてくださいます。聖霊はあなたの中に霊的な成熟をもたらし、パウロがガラテヤ人への手紙で述べたように、あなたの内に聖霊の実を結ばせてくださるでしょう。

あなたの中に、神から与えられた、神性を構成する優れた人格特性を**形成し、強化**します。

7.5.5 奉仕のための力！（偉大なる秘密！）

使徒行伝 1:8：「**聖霊があなたがたの上に降るとき、あなたがたは力を受け、わたしの証人となるでしょう。**」

聖霊は、あなたが効果的な証しをし、奉仕する力を与えてくださいます。聖霊はあなたに勇氣と忍耐を与え、霊的な權威を授けてくださいます。それは、私たちが自分自身や他人ではなく、神と神の御言葉に信頼を置くように助けてくださることによってです。

彼はあなたの奉仕活動に必要なエネルギーを与えてくれる。彼はあなたの心を愛と喜びで満たしてくれるでしょう。ローマ人への手紙14章17節と15章13節、そしてテサロニケ人への手紙第一1章6節を読んでみてください！

もう分かりましたか？

…あなたがイエスに従うことを決意すればするほど、あなたの内に宿る聖霊の働きはますます大きくなっていきます。

誘惑に抵抗する力を与えてくださるのは、まさに彼なのです。

彼こそがあなたの信仰を強めてくださる方であり、それによってあなたは勇気と確信をもって自分の信仰について人々に伝えることができるのです。

彼こそが、あなたの心に隣人への愛を植え付けてくれる方です。

したがって、最も重要なヒントは次のとおりです。

常にイエスと聖霊と共にいてください！あなたの家は欲望と誘惑に満ちた世界。あなたの真の故郷は神のもとにある。なぜなら、あなたの魂は神から与えられたものだからだ。神から離れると、サタンはすぐにあなたを再び支配するでしょう。聖霊の支えがなければ、世俗的な誘惑に耐えることはできないからです。すでに述べたように、神に対しては中途半端なことをしてはいけません！

日曜だけのクリスチャンになってはいけません。信仰生活において、生ぬるい態度になってはいけません。

ヨハネの黙示録 3:15-16 >> 警告:

「あなたの仕事は知っているし、あなたが熱くも冷たくもないことも知っている。どちらか一方だったらよかったのに！」しかし、あなたはぬるま湯のようで、熱くもなく冷たくもない。だから、わたしはあなたを口から吐き出すだろう。

7.5.6 霊的な賜物

コリント人への手紙第一12章を読んでください。聖霊は特定の人々に霊的な賜物を与えます。例えば、知識や知恵の賜物、あるいは祈りや按手によって人々を癒す賜物などです。神は他の信者たちに預言や異言の賜物を与えます。これらの霊的な賜物は、他者の幸福のために用いられるものであり、信者の共同体内でのみ使用されるべきものです。

まとめ：

聖霊は単なる抽象的な「力」ではなく、神聖な人格である。

彼は慰め主であり、教師であり、擁護者であり、聖性と力の源です。彼は信者であるあなたの内に宿り、あなたの内なる存在（思考）を変容させ、内側から働きかけます。

親密なつながり。聖霊に満たされた人生とは、神との親密なつながりの中で生きる人生であり、信頼と変容によって特徴づけられます。神に身を委ねれば委ねるほど、神はあなたを満たして下さいます。あなたは神の導きをより強く感じ、神の声を聞くことができるのです。

8. サタンとは誰か？

8.1 用語集

「サタン」という言葉はヘブライ語に由来し、文字通り「敵対者」「反対者」「告発者」を意味します。「悪魔」（ディアボロス＝中傷者）と「サタン」は、同じ人物を指す二つの異なる概念です。

サタン（悪魔）は**悪の化身であり**、したがって神の敵である。なぜなら、神は愛であり、善の化身だからである。

8.2 墮天使ルシファー

サタンは神の天使の中で最も高位の者であったと言われている。彼の名はルシファー（光を運ぶ者）であった。

8.2.1 ルシファーの反乱

ルシファーは、天使の中で最も力強く、美しく、知的な存在とされていました。しかし、ルシファーは傲慢で、神よりも上位に立とうとしました。ルシファーは三位一体の神に仕えることを拒否しました。彼の傲慢さと神への服従拒否は反逆へとつながり、彼はサタン、すなわち敵対者へと変貌を遂げたのです。

8.2.2 ルシファーが反逆した理由

反乱の理由は以下のとおりである。

プライド、権力、服従を拒む気持ち——神のようになりたいという願望、自由への渴望、自らを律する能力……

宇宙規模の戦い：ルシファーは天使たちの一部を説得して仲間に加えた。彼は神の秩序に対する天上の反乱を呼びかけた。反乱は宇宙規模の戦いへと発展した。ヨハネの黙示録12章7-12節を参照。

注：ルシファーが神に反逆した強力な天使であったという考えは、単一の聖書の記述に直接基づいているのではなく、聖書の様々な記述を後世に編纂した結果生まれたものです。

8.3 この世の君主、悪魔

ヨハネによる福音書22章31節では、悪魔は「この世の君」と表現されています。確かに、サタンはこの世のあらゆる場所で活動しています。しかし、だからといって彼が世界を完全に支配しているわけではありません。神は依然として主権者なのです。

サタンは不信者の目をくらませ、福音の輝かしい光が見えないように、あるいは見ようとしないように仕向けます。サタンの狡猾さは、不信者を福音の真理から目をくらませる偽りの思想や哲学を世に広めることにも及びます。

彼らは自分たちの哲学こそが真理だと信じているため、キリストへの信仰を拒絶するのです。

キリスト教は、行いによって神の恵みを得ることはできず、救いが贈り物として与えられる世界で唯一の宗教です。それは、自ら受け取ることのできる神からの贈り物です。エペソ人への手紙2章8-10節を参照してください。

8.4 私たちを誘惑しようとするサタン：

8.4.1 なぜサタンは私たちを誘惑しようとするのか？

考えられる解釈をいくつか挙げます。A

）神への憎しみから：サタンは神を直接攻撃できないので、神が愛するもの、つまり人類を標的にします。

*「もし私が神を滅ぼすことができないなら、せめて神が最も愛する創造物である人類を滅ぼしてやる。」*サタンはこうして人々を誘惑し、罪と自己破滅へと導くことで、神の働きを妨害しようとする。

B) 妄想から：サタンは自分が神に敗れ、いつか神がサタンのために明確に定めた地獄に落ちることを知っている。そして今、彼はできるだけ多くの人間の魂を道連れにして奈落の底へ引きずり込もうとしている。

8.2 サタンはどのようにして人を誘惑しようとするのか？

- A) 悪魔は残忍な破壊者ではなく、エデンの園で蛇に化けてイブを誘惑したように、巧妙な策略家である。
- B) 悪魔は善とは何かを問い、真理を相対化し、神の言葉を歪める。
- C) 悪魔は、神に従うよりも自己決定の方が優れているとあなたに信じ込ませる。
- D) 悪魔は、不従順こそが解放であるとあなたに信じ込ませる。
- E) 悪魔は、あなたには神は必要ないと信じ込ませる。
- F:) 彼は、悪魔や地獄はただのおとぎ話で、全く存在しないとあなたを説得するでしょう。
- G:) サタンはあらゆるものを歪めようとする。
- H:) 彼はあなたに「あなたは損をしている。神はすべてを禁じている！神は邪魔者だ！」と言って、あなたがキリストに従うのを妨げます。
- I:) サタンはあなたにお金、権力、名声、欲望の充足を約束します...
- J:) サタンは良いものを馬鹿げたものや退屈なものに見せようとしています。

罪は疫病のようなものだ。一度根付くと、火のように広がる。これは霊的な原則である。

8.3 あなたの霊的な戦い

はっきりさせておきましょう！キリストの信者であるあなたは、あなたを誘惑しようとする悪と常に霊的な戦いを繰り広げているのです！

知っておくべき重要なこと：霊的な戦いは現実です！

「悪魔の策略に対抗できるよう、神の武具を身に着けなさい。

私たちの戦いは、血肉に対するものではなく、支配者、権威、この暗黒の世界の支配者、そして悪霊どもに対するものだからです。」エフェソの信徒への手紙 6:11-12

したがって、サタンがあなたに対して新たな攻撃を仕掛けてくる可能性に常に備えておくべきです。彼の攻撃は、健康問題、夫婦間の問題、職場での問題など、さまざまな形をとる可能性があります。

5.3.1 サタンに抵抗するにはどうすればよいでしょうか？

悪魔的な影響は巧妙で、劇的なことはめったにありません。それらは主に、不和、嫉妬、そして欺瞞をまき散らすことに関わっています。

謙遜こそが、悪魔に対する最も強力な解毒剤なのです！ 「神は高慢な者を退け、謙遜な者に恵みを与える。」 ヤコブ4:6

謙虚であれば、神の支えを得られるでしょう。謙虚さは、内なる満足感と知恵をもたらすため、誘惑から身を守ってくれます。

第一の防御策：警戒心を持つこと。サタンが隠れている可能性のある仕組みを見抜くこと！

第二の保護策：聖なる生活を送ること！これからは、あなたの人生は神に捧げられるべきです！影のない生活を送りましょう。サタンが入り込む隙間のない生活を送りましょう。イエスと聖霊に意識を集中すればするほど、あなたはより良い成功を収めるでしょう。聖霊はあなたを助け、サタンがあなたの中に攻撃の糸口を見つけられないようにしてくれます。

3つ目の保護策：祈り。朝、一日の仕事に取りかかる前に、イエスに意識を集中させましょう。イエスに話しかけ、祈りましょう。心に響くこと、悲しみや心配事をすべてイエスに伝えましょう。一日を通してイエスがあなたと共にいてくださるようお願いしましょう。夜：一日を自分の手でやり遂げた後でなければ、寝てはいけません。

第四の保護：読む 聖書には

定期的に登場する。特に新約聖書に。特に四福音書と各教会への手紙に。原則：すべての 且 1 第1章 神の言葉を読むことは、あなたの中に宿る聖霊の存在を強め、悪に対する抵抗力を強めます。

5つ目の対策：摂取するものに気を配りましょう。あなたを束縛してきたあらゆる依存症から解放されましょう。ポルノグラフィーは一切摂取してはいけません。また、見る映画や聴く音楽にも注意を払いましょう。付き合う仲間さえも、あなたに影響を与える可能性があります。

第六の保護：神から来るはずのない、あなたの中で強くなろうとする考えに疑問を持ちましょう。あなたを非難したり、落胆させたり、混乱させたりする考えはどうでしょうか？

祈りの中でイエス様に自分の考えを話したり、同じ信仰を持つ友人にそのことについて話したりしてみましょう。

7つ目の保護策：自分が繋がりを感じられる宗教コミュニティを見つけ、そのコミュニティに溶け込みましょう。他の信者との交わりは有益です。共に力を合わせれば、敵の攻撃に対してより強く立ち向かうことができます。共に信仰を強め合うことができますのです。
炭火は、繰り返し火に近づけられて初めて燃え上がります。

8つ目の保護策：常にイエスに目を向けなさい。決して視線をそらしてはいけません。（ペテロが水の上を歩いた場面を思い出してください。）

第九の保護：サタンを遠ざけましょう！その方法については次の章で説明します。9.3.4を参照してください。

5.4 結論として：

サタンは、憎しみ、苦々しさ、許せない気持ち、怒り、争いといった、開かれた扉を必要としている。欲望、貪欲、嫉妬、傲慢、自己顕示欲…。

聖なる生活を送りなさい！戸を閉めなさい！*悪魔に付け入る隙を与えてはならない*。（エフェソの信徒への手紙 4:27）

謙遜を身につけなさい！謙遜の衣をまといなさい！謙遜をあなたの新たな装飾品としなさい。聖霊に、あなたの傲慢を謙遜に変えてくださるよう祈りなさい。

9. 神から離れること

9.1 すべてはこうして始まった

エデンの園へ戻り、アダムとイブを訪ねて、そこで何が起こったのか見てみましょう。

神はアダムとエバを創造し、彼らと交わりを持つようにされました。神は彼らを、ご自身が彼らのために創造されたエデンの園に連れて行かれました。神は彼らに園を耕し、世話をする仕事を与え、また、彼らがしてはならないことと、してはならないことを告げられました。
創世記第2章には、神が夕方にエデンの園に来て、ご自身の民を訪ねられたと記されています

。私は、神がこれを定期的に行われたと想像します。

神はご自身の民を創造し、彼らと交わりを持ち、彼らと共に喜びを分かち合うようにされました。

しかし、当時、アダムとエバはまだ今日の人類とは異なっていました。アダムとエバは裸でした。聖書には「**彼らは恐れなかった**」と記されています。彼らは恥を知らなかったのです。

アダムとイブは幼い子供のようなようでした。彼らはまだ善悪の概念を知りませんでした。彼らの周囲には悪は存在していませんでした。善、すなわち神だけが存在していたのです。

したがって、彼らはまだ善悪を区別することができませんでした。善悪の知識は、人類の墮落、あるいはそれよりも後の時代に初めて彼らにもたらされたのです。

創世記3章1-5節：モーセが聖書に残したこのことに関する記述を読みましょう。

「蛇は、主なる神が造られた他のどの動物よりも狡猾であった。」

「神様は本当に、どの木の果実も食べてはいけないとおっしゃったのですか？」と彼女は女性に尋ねた。「もちろん食べていいですよ」と女性は答えた。「ただし、庭の中央にある木は別です。神様はこうおっしゃいました。『その実を食べてはいけない。触れてもいけない。さもないと死ぬぞ!』」

「ばかげたことを！お前は死なない」と蛇は反論した。「だが、神は知っている。お前がそれを食べれば、目が開かれ、神のようになり、善悪を知るようになるだろう。」

神のようになれ！

かつてエデンの園に悪が現れた。具体的には、蛇の姿をしたサタンがアダムとイブを訪れたのだ。

今日と同じように、サタンは彼らの心に欲望を呼び起こすことで誘惑した。もっと、もっと良いもの、もっと大きなものを求める欲望を…。

さらに、彼は真実を歪曲し、疑念を植え付けることで彼らを誘惑した。（…神は本当にそんなことを言ったのだろうか…）そして、「あなたたちは神のようになる！」と言った。

こうして二人は、神の律法を破ることになるのを知りながらも、禁断の果実を食べた。神のようになりたいという誘惑は、あまりにも大きかったのだ。

神は、その実を食べれば死ぬと彼らに告げていた。しかし、ここでも彼らは蛇を信じた。その意味では、蛇（サタン）の言葉は正しかった。彼らは死ななかった（少なくとも肉体的な死はなかった）。

神が「さもなければ死ぬ」と言ったのは、霊的な死を指していた。霊的な死は「**神からの分離**」と同義である。不従順は神からの疎外を招き、恥、罪悪感、苦しみ、そして死がこの世にもたらされた。

「神から引き離された」結果として、アダムとイブは楽園を追われ、それ以降は重労働、汗水流し、そして苦難を通して自らの糧を得なければならなくなった。

9.2 原罪

この「神からの分離」は、アダムとイブの子孫である私たちにも当てはまります。アダムの不従順によって、私たちはある意味で「遺伝的にその傾向を受け継いでいる」のです。この遺伝的な傾向は「**原罪**」と呼ばれます。アダムの罪は、自動的に子孫に受け継がれるのです。

アダムは罪を犯した罪で有罪とされただけでなく、その罰（神からの分離）は子孫である私たちにも受け継がれました。したがって

、原罪とは、私たちもまた胎内から神から分離されているという結果です。

洗礼：これが、キリスト教会が様々な宗派において、子供たちにできるだけ早く洗礼を受けさせる理由です。キリスト教の教義によれば、神からの分離は洗礼によってのみ克服されます。

悪への感受性：原罪は、私たちが生まれながらにして悪に感受性があるというところまで及んでいます。これには

ある程度の真実があります！使徒パウロでさえ嘆いています。（ローマ人への手紙 7:18-20）
「**私は、自分がしたい善を行わず、したくない悪を行っています。**」

したがって、人類が罪深い性質を持っているという主張は正しいです。

他人の罪の責任？神は、私たちが犯していない罪の責任を私たちに負わせることができるでしょうか？

私たちの人生には、自分の罪深さに気づく時が来ます。この時点で、私たちは罪深い性質に抵抗し、悔い改めるべきです。

しかし、私たちはアダムのように罪を犯し（そして部分的にはそれを楽しむことさえ）、自らの罪深い性質を肯定してしまいます。罪を肯定することで、私たちはアダムがエデンの園で行ったことを承認していることになります。したがって、私たちは自ら罪を犯していないにもかかわらず、アダムと同じようにこの罪を犯していることになるのです。

アダムとイブの話に戻しましょう。

果物を食べた途端、彼らは突然自分たちが裸であることに気づいた。

子供じみた無邪気さは消え失せ、たちまち善悪の区別がつくようになった。

善悪の知識を得たことで、アダムとイブはより高いレベルへと昇華した。サタンは過剰な約束などしなかったのだ！

知っておくべき重要な点があります。アダムとイブは知恵の木の実を食べる前は罪に問われることはありませんでしたが、今では罪に問われる可能性があります。

それは法律のようなものです。もし速度制限がなければ、好きなだけ速く運転できます。裁判官はスピード違反であなたを訴えることはできません。裁判官は法律、つまり規則に基づいてのみ有罪判決を下すことができるのです。善悪の区別についても同じことが言えます。

善悪の認識は、私たちの魂に刻まれた法則のようなものです。嘘をついたり盗みを働いたりするとき、私たちは無意識のうちにこの法則を破ったことを悟ります。

私たちの心に刻まれている：ローマ人への手紙2章14節を読んでください！パウロはそこで、文字通りこう言っています。「**神の律法はすべての人の心に刻まれている。**」

結論：もし私たちが神の律法に違反すれば、罪を犯すことになる。

赤信号無視：それは赤信号を無視するようなものです。法律で禁止されています。ですから、裁判官はあなたを訴え、罰金を科す権利があります。

的を外す：神の律法に違反することは「罪」と呼ばれます。文字通り訳すと「的を外す」となります。罪を犯すと、罪悪感が生じます。罪を背負ったままでは、もはや聖なる者ではられません。

しかし、神の前に立つためには、「聖なる者」、つまり「義なる者」でなければならない。人間は誰一人として神の基準を満たすことはできない。パウロがローマ人への手紙に書いたように。

ローマ人への手紙3章10-12節：「**聖書にも同じことが書いてあります。『罪のない人は一人もいない。神を理解し、神を求める人は一人もいない。』**」

彼らは皆、神から離れ去り、それゆえ神にとって何の役にも立たない者となった。善を行う者は一人もいない。

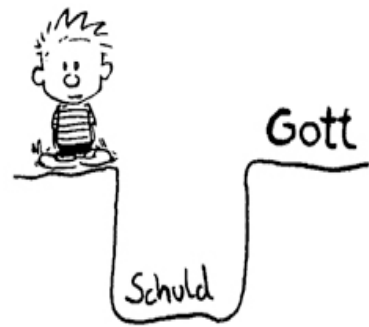
9.3 なぜ私たちは絶えず罪を犯すのか？

9.3.1 私たちの罪深い性質：

前述の通り、

原罪は私たちの道徳性を弱めます。その結果、罪への傾倒、つまり神や他者を顧みない自己実現への絶え間ない内なる衝動が生じます。罪によって、私たちは神から引き離されます。まるで、あなたと神の間に深い溝があるかのようです。

これは私たちの責任です。私たちは向こう側に神を見ることができますが、そこへ渡ることはできません。確かに私たちは神を認識し、見ることができますが、それだけでは何の益にもなりません。



私たちは神から引き離されているため、神の子となることはできません。神との架け橋を築いてくださったイエス・キリストを通してのみ、あなたの罪は赦され、神はあなたを再び受け入れてくださるのです。

教父アウグスティヌスはそれを次のように表現した。

「私たちはもはや罪を犯さずにいられない。」

人は良いものを認識するが、より心地よく、便利で、魅力的に見えるという理由で、しばしばより悪いものを選んでしまう。



9.3.2 目に見えない次元

私たちには見ることはできない目に見えない次元は、驚くほど単純な構造をしている。

精神世界は、善と悪という二つの陣営から成り立っているのだ。

『神と悪魔』より。

魂の最終的な安息の地は、次のとおりです。天国か地獄か、どちらかしかない。

人間の魂は皆、何らかの陣営に属している。好むと好まざるとにかかわらず！人々はそのことにすら気づいていない！

しかし、それは紛れもない事実だ。もしあなたが神の子でないなら、あなたは自動的に悪魔の子となる。

もしあなたが神の前で罪を犯しているなら、そして赦しを受けていない限り、あなたは悪魔の陣営に属しています。あなたは悪魔の奴隷です。サタンはあなたに罪を犯させたいのです！罪は人を奴隷にします。罪を犯せば犯すほど、あなたは罪の奴隷になっていくのです！

あなたに次のようなことを告げているのはサタンです。

- 私はこれを受けるに値する！
- 私にはそうする権利がある！
- 一度だけでは不十分だ。
- 私は正当な権利を取り戻す！
- 私は権力が欲しい！
- 誰にもそんなことは言わせない！
- 彼は自業自得だ！
- 金持ちになりたい！

利己主義：上記で挙げた流行語はすべて利己的な考え方を表しています。

自我は正当化、権力、そして承認を求める。自我に囚われた者は真の愛を抱くことができず、それゆえに罪を犯しやすい。

小さな悪魔：こうした考え方は、小さな赤い悪魔によって私たちの耳元でささやかれる。もし私たちがそのささやきに惑わされてしまうなら、私たちは破滅するだろう。

ペテロの手紙を読んでください！ペテロの手紙第一 5章8節

「身を慎み、目を覚ましていなさい。あなたがたの敵である悪魔は、ほえるライオンのように歩き回り、だれかを食い尽くそうとしています。」

9.3.3. 新しくキリスト教に改宗した人々は特に危険にさらされています！

あなたが最近イエスに従うことを決意し、人生を新たに始めたと想像してみてください。

もちろん！悪魔は君を取り戻したがっている！これからは君はもう、大多数の人々が住む敵陣営には属さない。いや！君はもう寝返ったのだ。

悪魔にとって何という恥辱だろう！彼はあなたの魂を神に奪われてしまったのだ！もちろん、彼のプライドはそれを許さない！だからこそ、悪魔はあなたを神から奪い返そうと、ますます必死に、そして狡猾に戦うのだ！

知っておくと良いこと：神と共に新たな人生を歩み始めた人間の魂であるあなたは、特にサタンによって神の影響圏から追い出される危険性が高いのです！

9.3.4 サタンをあなたから追い払いなさい！

もしあなたが新しく信仰に入ったばかりで、サタンがあなたを苦しめていることに気づいたら——例えば、聖書（特に新約聖書）をどうしても読めないとか、何かに取り憑かれて抜け出せないといった場合——悪魔を追い払いましょう！

神の子であるあなたは権威を持っています。イエスがそばにいてくださるなら、悪に対して**も権威を持つことができるのです！**サタンは決して神ほどの力は持っていません。

そのような場合は、自分の部屋に行き、聖書か十字架を手に取り、権威をもって声に出して祈りなさい。

イエス・キリストの名において！サタン：私から離れろ！サタン：お前には私の魂に対する権利はない！ここから出て行け！！

そして私はあなた方に言います。悪魔は消え去ります。信者であるあなたは、サタンに対しても力を持っているのです！

10. なぜ罪を犯すのか？

章の序文

前の章では、原罪と、なぜ私たちは何度も罪を犯すのかについて述べました。罪が神にとって最も恐ろしいものである理由を理解するには、神がいかに聖なる方であるかを認識することが役立ちます。

10.1 仲介者としてのイエス

神の全能性、愛、そして光は純粋な聖性です。神はご自身について、その聖性ゆえに、その顔を直視してはならないと述べています。

出エジプト記33章20節にはこうあります。

「私を見る者は誰一人として生きることはない。」 私たち人間は自ら罪を背負ってきた。その罪悪感は、私たちを即座に死へと導くだろう。

仲介者としてのイエス：人間と神との隔たりは絶対的なものである。

それは、私たちがどれほど仲介者を必要としているかを示しています。私たちと聖なる父なる神との間の仲介者。この隔たりを埋めることができる方。イエス・キリストこそがその仲介者です。イエスを通して、私たちは再び神に近づくことができます。イエスは神への扉なのです。

10.2 神にとって罪とは何を意味するのか？

聖書の中で神は罪について非常に明確に語っています。罪は聖書の中心的なテーマの一つです。

に反するあらゆる行為や言葉のことである。

「罪」という言葉は「**的を外す**」という意味である。

聖書の言葉： *「罪を犯す者は皆、律法を破る者です。罪とは不法だからです。」*

(第一ヨハネ3:4)。

したがって、罪とは道徳的に間違った行為であるだけでなく、神との関係を断ち切る行為でもあるのです。

10.3 罪の結果

その結果は死です。罪を犯した者は誰でも（霊的な意味で）死ななければなりません。既に説明したように、罪は神にとって非常に恐ろしいものであり、死刑宣告に等しいのです。神の前では、私たちは霊的に死んでいます。聖書にはこうあります。 *「罪の報酬は死である。」* ローマ人への手紙 6:23

10.4 罪に対する神の態度

神は聖にして正義である。ゆえに、神は罪を無視することも容認することもできない。

知っておくべき重要なことは、罪は血によってのみ贖われるということです。罪を取り除くには、血を流さなければなりません。

この点については、レビ記17章11節を読んでください。そこで神は、血は命を象徴すると述べています。もし誰かが罪を犯したなら、その罪は血、すなわち命によってのみ洗い流されるのです。

古代、イスラエル人は神の命令により、年に一度、傷一つない完璧な雄の子羊をいけにえとして捧げなければならませんでした。

その子羊の血は、罪を犯した者の死の代わりに流されるものでした。しかし、神はモーセに

、いつか特別な預言者、すなわち神に特に近い預言者が現れることを既に告げていました。

申命記18章15～18節をお読みください。

神は

預言者イザヤに、いつか救い主を送ると告げられました。イザヤ書53章をぜひ読んでみてください。そこにはイエスに関する詳細がすべて記されています。しかも、これは750年も前のことです！

罪の問題に対する神の究極の答えは、罰ではなく救いである。イエス・キリストによる救い：

聖書の一節：ヨハネによる福音書 3章16節 *「神は、実に、世を深く愛されたので、ひとり子を与えられた。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠の命を得るためである。」*

10.5 神の救い

神は救いを与えてくださった！

この点を認識する必要がある。 神 神ご自身が、私たちが神の御前で義とされ、罪から解放されるようにしてくださいました。神ご自身が、私たちの救いの道を開いてくださったのです！神は、

その限りない愛ゆえに、神である御子を地上に遣わし、全世界のすべての人々のすべての罪のための汚れなき犠牲として、いわば身代わりとして、その命を捧げる使命を与えられました。彼は地上で唯一、罪を犯したことの無い人でした。彼がこのようなことができたのは、彼が神だからです。

イエスは十字架につけられました。この死は、世の罪のための犠牲の死でした。

福音＝「良い知らせ」：福音、すなわち良い知らせとは、まさにそういうことです。神ご自身が、仲介者であるイエス・キリストを通して、私たち人間が神と和解することを可能にしてくださいました。私たちはただ、イエスによる罪の赦しを自分自身のために受け入れるだけで良いのです。

言い換えれば、イエスを通して罪が赦されることを信じること。そして、それゆえに、イエスを信じること。

変換することで、あなたはまさにそれを実現したのです！ ですから、あなたは今、すべての

罪の重荷から解放されました！あなたは、これまで犯した罪からも、これから犯す罪からも解放されたのです。イエスはこう言われるでしょう。「あなたの信仰があなたを救ったのだ！」

重要な聖句 1 ヨハネの手紙一 9: 「もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、私たちの罪を赦し、すべての不義から私たちを清めてくださいます。」

11. 地獄は本当に存在するのか？

11.1 はじめに

現代社会では、地獄の存在を否定する風潮が蔓延している。これはサタンの常套手段だ。

「そんなはずはない！『神』がそんなものを創造するはずがない。それはおとぎ話に違いない！」と人々の耳元で囁くのだ。

断言しますが、地獄は存在します。もし地獄が存在しなければ、聖書は間違っていることになります。聖書の正確さは幾度となく証明されてきました。聖書を読めば、数十もの預言に出会うでしょうが、それらはすべて詳細に成就しています。したがって、聖書は他に類を見ないものです。

聖書は神の言葉です。だからこそ、地獄と死者の国（最後の審判までの魂の一時的な住処）が存在すると考えるのは理にかなっているのです。

11.2 聖書における地獄の言及：

地獄というテーマや地獄（あるいは死者の世界）への言及が、福音書に最も頻繁に登場するのは興味深い事実である。

イエス・キリストはしばしば地獄について語り、言及しました。例えば、ラザロと金持ちの話です。 （ルカによる福音書 16:19-31） 非常に重要です！

弟子たちに、そこがいかにも恐ろしい場所であるかを語り続けた。そして、無傷で地獄に落ちるくらいなら、目をえぐり出したり手を切り落としたりする方がましだと述べた。これらの言葉は衝撃的だ！どんな状況であっても、決して地獄に落ちてはならないということを示している。

なぜイエスはこれを知っているのか？イエスがこれを知っているのは、彼自身が地獄を創造したからである。

この宇宙の万物はイエスを通して創造された。父なる神が語り、神であるイエスはその命令を実行した。

ヨハネは福音書の中でこう書いています。（ヨハネ1:3）

「万物は彼（イエス）によって造られた。彼（イエス）によらずに造られたものは一つもない。」

11.3 臨死体験；人々の証言

インターネットやYouTubeには、臨床的に死亡状態にあった人々が、その間に天国や地獄を体験した

という証言が数多く投稿されている。これらの人々は、医療処置中に心臓の活性化によって蘇生した。彼らの多くは、イエス・キリストに出会い、イエスから死後の世界で見たことを伝える使命を与えられ、地上に戻されたと報告している。

インターネットリンク：

喜んでここにリンクを掲載しますが、リンクはすぐに変更される可能性があります。インターネットブラウザまたはYouTubeでご自身で検索してください。

11.4 地獄と死者の国の違い

聖書は、地獄（永遠の罰）と死者の世界（死後の死者の場所）を区別している。

聖書では、地獄は「ゲヘナ」と呼ばれています。つまり、神の最後の審判の後、人間の魂が最終的に住む場所です。>> したがって、「永遠の破滅」

人間の肉体が死んだ後、魂はすぐに永遠の地獄（破滅）や天国（栄光）へ行くのではなく、中間段階、すなわち「死者の国」へと向かう。ヘブライ語では「シェオル」、ギリシャ語では「ハデス」と呼ばれる。

ルカによる福音書16章にあるイエスとラザロの物語からわかるように、死者の世界は二つの部分に分かれています。一つは「安らぎのハデス」（アブラハムの懷）であり、もう一つは「苦しみ of ハデス」（地獄の前室）であり、金持ちのラザロはそこに落ちたのです。

11.5 信じられない！

今あなたはこう言うかもしれません。 「え？愛に満ちた神が、聖書に書かれている地獄のよ

うな恐ろしい苦しみを人々（魂）にもたらすなんて？」（永遠に燃え続ける溶けた硫黄の湖、黙示録19:20 // 20:10-15）あなたは
「信じられない！そんなはずはない！」と叫ぶでしょう。

答え：神は愛に満ちているだけでなく、聖く、正義に満ちています。神は人類を自由意志のもとに創造されたので、たとえ人が自由を選び、神との交わりを拒絶するとしても、この自由を尊重します。

したがって、地獄は神の残虐な企みではなく、神に反抗する最終的な決断の論理的な帰結なのである。

C・S・ルイス（20世紀）はこう述べた。 「結局のところ、人間には二種類しかいない

。
神に『御心が行われますように』と言う人と、
神から『御心が行われますように』と言われる人だ。」

注意：無限なる神に対する罪は、無限の重みを持つ！

こうして初めて、神の聖性を真剣に受け止めることができる。地獄の存在は、神の愛が安っぽいものではなく、悔い改めへの真剣な招きであることを示している。

結論：

聖書は、神を完全な愛を持つ存在として描いているが、同時に完全な正義を持つ存在としても描いている。地獄は「神のサディズム」としてではなく、人間の自由意志と罪の結果として理解されている。

この結果（永遠の苦しみ、滅び、あるいは浄化）をどのように解釈するかは、神学的立場による問題である。

12. なぜ聖書を読むのか？

12.1 基本事項

敬虔なキリスト教徒にとって、聖書を読むことは睡眠や食事と同じくらい不可欠なことである。キリスト教徒は聖書を単なる書物としてではなく、神からの啓示として理解している。

聖書の一節：テモテへの第二の手紙 3章16節

「聖書はすべて神の靈感によって書かれたもので、私たちに教え、罪を正し、義に導き、神に喜ばれる生き方をさせるために用いられるのです。」

神は聖書を通して、物語や預言、あるいは新約聖書のイエス・キリストを通して、私たちに語りかけます。ですから、聖書を読むということは、**書かれた形で神の声を聞くこと**なのです。

12.2 聖書を読むべき理由

聖書は人生の指針です。既に述べたように、聖書を読むことで、神はあなたに語りかけます。聖霊はあなたのそばにいて、信仰に関する事柄について洞察を与えてくださいます。

- 聖書は道徳的、倫理的な指針を与えてくれます。例えば、山上の垂訓、十戒、使徒たちの手紙など、「クリスチャンはどのように生きるべきか」を示しています。
- 聖書は、信仰の観点から人生の決断を吟味するのに役立ちます。
覚えておくの良いこと：聖書の原則や教えに反する決断は決してしてはいけません。 あなたは失敗するでしょう！なぜなら、神はあなたの決断を祝福しないからです！
- 聖書を読むことは霊的な糧となる。聖書を読むことを通して、神の約束への信頼が深まる。
- 聖書を読むことで、神の愛、正義、誠実さ、忍耐といった性質をより深く理解することができます。これはあなたの信仰を強め、着実に成長させてくれるでしょう。
- 聖書には、苦難や悲しみの時にあなたを支え、慰めてくれる言葉がたくさんあります。**箴言と詩篇を読んでみてください！**
- 聖書を読むことは、あなたの中に宿る聖霊の働きを強めます。それはあなたの内面を変容させ、キリストとのつながりを深めるでしょう。
さらに、聖霊はあなたに驚くべき洞察を与えてくれるでしょう。
- 聖書を読むことで、あなたを陥れようとする敵の攻撃に対して、あなたは自らを強くすることができる。

12.3 どこで読めばいいですか？

聖書は二つの部分から成り立っています。

より分厚く、より包括的な部分である旧約聖書と、より簡潔な部分である新約聖書。

旧約聖書は、イエスの誕生以前に書かれた文書から成る。

新約聖書は、イエスの死後に書かれた文書から成る。

信仰を持つ若いあなたにとって、まず新約聖書の記述に親しむことが重要です。（それから旧約聖書を学ぶべきです。）

したがって： 毎日、新約聖書から一章ずつ読むことをお勧めします。

新約聖書の最初の4つの書は、4つの福音書です。これらはイエス・キリストの生涯と宣教活動を描いています。4人の著者はそれぞれ独自の方法でイエスの包括的な姿を描き出しています。

ある意味では、これらの福音書は同じ出来事を記していると言えるでしょう。しかし、それぞれの著者は、自分が体験した通りに、あるいは人から聞いた通りに書いています。

マタイと**ヨハネ**の福音書は目撃者の証言です。この二人の著者はイエスの弟子であり、イエスの3年間の宣教活動を通してずっと彼と共にいました。他の二人の著者、**ルカ**と**マルコ**は、人から聞いた話を書き留めたのです。

ここで挙げる5番目の書物は使徒言行録です。これは、イエスの昇天後、福音が世界中に広まり、近東から遠くローマに至るまで、いかにして新しい教会が誕生したかを記したものです。

教会への手紙：新約聖書の他の書物は、使徒たち（信仰の指導者たち）が教えと霊的成長のために様々な教会に送った手紙です。

重要：これらの手紙を読むことは、基本的かつ絶対に不可欠です。これらの手紙から、信仰とは何か、そしてキリストの信者はどのように生きるべきかを学ぶことができます。

新約聖書の最後の書はヨハネの黙示録です。したがって、それは神が使徒ヨハネに世界の終末に関する幻として示されたことを記録したものです。

旧約聖書の中で読む価値のある書物：詩篇、ソロモンの箴言、モーセ五書、イザヤ書、その他多数。聖霊があなたに読むべき書物を示してくれるでしょう。

12.4 どのように読めばよいですか？

携帯電話で聖書を読むことをお勧めします。そうすれば、いつでも聖書を手元に置いておくことができます。電車やバスの中、昼休み、あるいは朝晩寝る前に聖書を読むことができます。

12.5 どの聖書アプリを使うべきですか？

聖書アプリ「YouVersion」をインストールすることをお勧めします。YouVersionは世界有数のオンライン聖書アプリで、毎日数百万人が利用しています。

12.5.1 YouVersionの利点：

- 数十の言語に対応しています。
- 様々な言語で、複数の異なる聖書翻訳版が入手可能です。
- 聖書の翻訳版はダウンロードできるので、オフラインで読むことができます。
- また、聖書のテキストを音声で聞くことができるオーディオ聖書も数多くあります。
- 非常に効率的でスムーズな聖書の一節検索機能。
- 聖書の該当箇所を色で強調表示できます。
- 聖書翻訳版を素早く切り替える。
- 聖句を効率的に比較する方法です。お好みに合わせて、同じ聖句を異なる翻訳で確認できます。
- 詩句は簡単に他のアプリケーションにコピーしたり、他の人と共有したりできます。
- メモを取って保存できます。
- 聖書の読書プランや聖書研究は数多く用意されています。
- 毎日、その日の聖句が届きます。それは、一日を通してあなたを助け、導くためのものです。
- 聖書に関する知識や意見を友人と共有できる、大規模な聖書コミュニティです。Facebookや携帯電話のアドレス帳と連携可能です。
- さらにこのアプリには、キリスト教関連の動画や映画、詳細なトピック、信仰に関するコンテンツ、聖句画像編集ツールなど、他にも数十種類の便利な機能が搭載されています。

12.6 敵対者

神がこの世に存在するのと同様に、サタンもこの世に存在するのだ！

彼は神とは正反対の存在です。あなたが改宗する前は、あなたの魂は彼（サタン）のものでした。おそらくあなたは当時、自分がサタンの影響下で生きていたことにさえ気づいていなかったでしょう。

しかし今、あなたの魂は神のものです。しかし悪魔はあなたの魂を取り戻そうとしています！

ですから、悪魔からの誘惑に備えてください。

あなたはサタンが聖書を読むのを妨害しようとするのを経験するでしょう。彼はあなたを妨害したり、例えば肉体的な不快感を与えようとしたりするでしょう…

しかし**恐れることはありません！**悪魔はもはやあなたに対して力を持っていません。イエスの助けがあれば、あなたは悪魔を追い払うことができます。その方法については、第9章2.4節「サタンを追い払う」をご覧ください。

聖書を読むあなたに、たくさんの祝福がありますように。

13. 聖なる者となれ！

指導原則： 聖なる生活とは、自らが環境に順応することなく、環境をより良い方向へと変えていく生活である。

13.1 基本事項

1. 神は私たちが聖なる者となることを望んでおられます。**レビ記19章2節**で、神はご自身の民にこう呼びかけておられます。

「あなたがたは聖なる者とならなければならない。わたし、主なるあなたがたの神は聖なる者だからである。」

私たちが常に神の光の中に留まり、罪によって聖霊を悲しませないならば、この性質は神から私たちに与えられるものです。

例：

藁の束は燃える性質を持っている。この性質は決して失われることはない。

どんなに頑張っても、燃えなくなることはない。藁の束が水に浸された時だけ、燃えなくなるのだ。

水との接触が途絶えて乾燥して初めて、再び燃え始める。

決して自力では聖なる者にはなれません。人は自力では決して

聖なる者にはなれません。常にあらゆる罪や罪悪感に陥りやすい状態にあります。しかし、もし人々がイエス・キリストにとどまるならば、彼を通して聖化されます。イエスは私たちの人生を守り、聖化してくださいます。そして、ご自身の聖さで私たちを包み込んでくださいます。

重要な聖句：ヨハネの手紙一 2:15-17

「この世を愛してはならない。この世の何物にも心を奪われてはならない。この世を愛する者は、父なる神を愛することはできないからである。」

それでは、この世の本質とは何でしょうか。それは、利己的な欲望、目に留まるものすべてへの食欲、富と権力への自慢です。これらはすべて、私たちの父なる神から来るものではなく、この世に属するものです。そして、飽くなき欲望を持つこの世は、いずれ滅び去ります。神の御心を行う者だけが、永遠に生きるのです。

神は、私たちが神との関係において、物事を中途半端にしてはいけないと伝えたいのです。私たちが聖なる生活を送るためには、あらゆる瞬間においてキリストと繋がっていない必要ありません。まさに、「藁は常に水に浸しておかなければならない」のです。

来世：聖なる生活を送る信仰深いクリスチャンは確かにこの世に生きていますが、彼らの精神的な故郷、つまり彼らの思考を形作る場所はキリストと共にあります。このようにして、あらゆる欲望に満ちたこの世は、もはや私たちを誘惑することはできません。

13.2 「聖なる存在であること」は、実際にはどのような意味を持つのでしょうか？

- 聖性とは、人生においてイエス・キリストが第一位であるということ、そして私たちの意識が神に向けられているということである。
- 聖なる人は自分のために生きるのではなく、神のために生きる。
- イエスは私たちのコーチであり友人となり、人生を通して私たちを導いてくれることを望んでおられます。
- それは、世俗的なものから意識的に距離を置く生き方についての話だ。

✓ 愛ではなく愛の欠如

✓ 恨みではなく、和解を。

✓ 復讐ではなく、許しを。

- ✓ 放蕩ではなく、純粋さを。
- ✓ 欺瞞ではなく、真実を語る。
- ✓ 傲慢ではなく、謙虚さを。
- ✓ 傲慢ではなく、慈悲を。

イエスは私たちにこう言います。

「あなたがたは地の塩であり、世の光である。」（マタイによる福音書 5:13-14）

重要な聖句：「あなたがたの行い、言葉、行動すべてを通して、イエスがあなたがたの主であることを示しなさい。あなたがたはイエスと結びついているので、すべてのことについて父なる神に感謝することができるのです。」

コロサイ人への手紙 3:17 (HFA)

13.3 私たちはどのようにして聖なる人になれるのでしょうか？

聖なる生活を送ることは、一夜にしてできるものではありません。

生き方は徐々に変化していくものです。

これが秘密です。

信仰が深まり、イエスと父なる神への愛が増すほど、人は聖霊に満たされます。

聖霊は私たちの考え方を換え、それによって私たちがますます聖なる生活を送ることができるように助けてくださいます。

以下の要素を考慮に入れる必要があります。

- 人生において神を第一に考えること。
- 神に目を向けましょう。神との時間を過ごしましょう。（聖書、祈り）
- 彼の存在を意識して生きる。
- 常にイエス様とオンラインでつながりましょう
- 世俗的なものに影響されてはならない。
- 人が行うすべてのことは、自身の名誉のために意識的に行うべきである。

聖性とは、絶えず自己を律することをも意味します。聖性とは完璧な状態ではなく、献身の道です。欠点がないことではなく、常に神の祝福の光の中で生きることなのです。

聖性とは、次のようなことも意味する。

- ✓ 謙虚さを忘れずに
- ✓ 常に学び続ける姿勢を持ち続けよう
- ✓ 平和を築く
- ✓ 愛を実践する
- ✓ 神の恵みによって生きる
- ✓ 神によって変えられることを自分に許す
- ✓ 知恵と忍耐を学ぶ

聖性は、他者への接し方に表れる。 真の聖性は、宗教的な儀式ではなく、愛、忍耐、そして慈悲に表れる。

「愛がなければ、私は何者でもない。」 コリント人への手紙第一 13:2

聖なる人々は、しばしば控えめでありながら、深い洞察力、温かい心、明晰な思考力、そして神との内なるつながりを持っています。聖性とは特別な宗教的地位ではなく、神を知り愛し、神の臨在の中で生きる人の自然な生き方です。それは隠遁生活を通してではなく、日々の生活の中で、愛、誠実さ、清らかさ、そして献身を通して示されるのです。

14. 聖霊において成長するにはどうすればよいでしょうか？

言い換えれば、聖霊における成長を認識するために使える兆候とは何でしょうか？

聖霊は、私にはカタツムリのように思えます。 それは非常にゆっくりと、そして絶えず、私たちを支配していくのです。

知っておくと良いこと（これは知っておく必要があります）：聖霊の導きのもと、神と共に生きる人生は、あなたが以前送っていた人生とは全く異なる人生です。
それは、あなたが自分の人生を変えようとする意志にかかっています。

聖霊があなたの人生に完全に入り込む準備ができている場合にのみ、あなたは聖霊の中で成長することができます。聖霊は、あなたの内なる清められ、浄化された家に住みたいと願っておられます。

神の霊は、真にあなたの内に宿りたいと願っておられます。聖霊は、あなたの人生のあらゆる部屋に入り込みたいと願っておられます。そもそも、あなたは神から何も隠すことはできません。これは、あなたが人生を整理し、人生の埃っぽい隅々に光を取り入れることによっ

てのみ可能になります。

対立している人々や、否定的な関係にある

人々と和解しましょう。依存症から自分を解放しましょう。聖霊があなたに良くないと示しているものはすべて、あなたの人生から取り除きましょう。

14.1 聖霊を悲しませること

カタツムリに触れるとどうなるでしょうか？すぐに引っ込んでしまいますよね！聖霊も同じです。エペソ人への手紙4章30～33節を読んでみてください。

あなたが好んで犯す罪で彼を怒らせれば、彼は必然的にあなたの中に引きこもってしまうでしょう。そして、その隙間をあなたの敵が喜んで埋めることになるのです。

危険だ！なぜなら、このやり方ではいつも堂々巡りをしてしまい、聖霊における成長において何の進歩も得られないからだ。

しかし、あなたは聖霊と信仰において成長したいと願っている。

つまり、それはあなたが最も好きな罪さえも一貫してイエスに委ねることによってのみ可能になるのだ。

どうしようもない！

その秘訣はこうです。聖霊があなたの中に深く浸透すればするほど、サタンの誘惑に抵抗しやすくなります。また、喫煙などの好きな罪や依存症を断ち切ることもずっと容易になります。

14.2 ドアは閉めたままにしてください！

悪魔に隙を与えてしまうと、聖霊は退き、サタンはあなたが開け放った扉の隙間から力強く入り込めます。大切なのは、悪魔にあなたの人生で攻撃する機会を一切与えず、神の助けを借りて「扉」を閉ざし続けることです。そうすれば、サタンはあなたの中に足がかりを得ることができません。

したがって、神はあなたに聖なる生き方を追求するよう呼びかけているのです！

あなたが完全に神に立ち返り、神の祝福の光の中に身を置き、聖なる生活を送ることによってのみ、このようにしてサタンをあなたの人生から遠ざけることができるのです。

こうして、それは再び真実であることが証明された。 半分キリスト教徒であるというのは全

くのナンセンスだ。

14.3 聖霊の実

「しかし、御霊の実とは、愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、忠実、柔和、自制です。」

ガラテヤ人への手紙 5:22-23)

あなたは信仰を深めたいのですよね？

周りの人は皆、あなたが神によっていかに良い方向に変容させられたかを目にするでしょう。

。

聖霊が求める空間をあなたの内に与え、聖なる生活を送るならば、これらの実りは自然とあなたの内に現れます。しかし、あなたは神があなたの存在を変容させてくださることを心から願わなければなりません。

すべての実りがすぐに現れるわけではありません。しかし、それらの成長は、神の御霊があなたの内に働き、あなたを変容させていることの明確な証です。聖霊の働きが深まるほど、これらの実はあなたの内にますます成長していくでしょう。

14.4 あなたの内なる精神の成長の兆候

聖霊があなたの中で成長し、その力が強まっているかどうかは、どうすればわかるのでしょうか？

以下に、それを判断するのに役立ついくつかの特徴を挙げます。

- 聖霊に満たされるほど、聖書研究、祈り、そして神との交わりへの欲求があなたの中に湧き上がってくるのです。
- イエス・キリストにもっと似た者になりたいという内なる衝動。
- 神への深い喜びと感謝。
- 他の人への愛！みんなを抱きしめたい！
- たとえ扱いにくい相手であっても、他者への真摯で無私の愛。
- 許し、和解しようとする意思。
- ヨハネによる福音書 4:7-8 >> 憐れみ！
- 罪と聖化に対する意識の高まり。
- 聖霊はあなたの中にある罪を明らかにします（ヨハネ16:8）。これにより、聖さを求める気持ちと、悪から離れる気持ちが生まれます。
- あなたはもはや故意に罪の中に生きるのではなく、浄化と再生を求めている。

- 聖霊はあなたに印象、知恵、そして導きを与えてくださいます（ローマ8:14）。
歩みを進めれば進めるほど、あなたは心の中で聖霊の声を聞くようになるでしょう。
- 人生におけるあらゆる決断は、今やイエスの御前に委ねられる。
決断を下す前に、イエスならどうするだろうかと問いかける。神の御心に従って決断を下すことが、あなたにとってますます重要になっていく。
- 証しをする勇氣：あなたはますます、他の人々に福音を伝えたいという思いに満たされています（使徒1:8）。
- 反対に直面しても、イエスの側に立つ勇氣があなたの中に湧き上がってくる。
- 力強くも愛情に満ちた、真実のための擁護活動。
- 信者の中には、神から霊的な賜物を与えられる人もいます。例えば、知恵、癒し、預言、知識などです。
- あなたが喜びを感じるのは、人生において神の支えと神秘的な導きを感じるからです。

聖霊があなたの内にますます大きな存在となり、あなたの中での働きを通して、あなたが多くの愛と光を放つ人となることを願っています。

15. クリスマンとして日常生活を送る

もしあなたがここまで意識的にこのガイドを読み、その内容を理解しようと努めてきたのであれば、この章は実際には不要です。

聖霊は、神と共に、そして隣人と共にどのように日々を生きるべきかを明確に示してくださっています。

しかし、それを文字で確認したいという方のために、ここにもう一度書き記しておきます。

- あなたは、神なき人生は破滅へと向かうということを悟ったのです。
- あなたは、イエス・キリストの保護のもとで生きることが、より幸せな人生になることに気づいたのです。
- あなたはもう二度と一人ぼっちではありません。あなたには、目に見えない友であり指導者であるイエスがいて、限りなくあなたを愛しています。そして、もう一人助けてくださる聖霊がいて、あなたに洞察と導きを与えてくれます。聖霊は神の声であり、あなたの人生を導き、方向づけてくださるのです。

15.1 クリスマンとして生きるための基本ルール

キリストの弟子として、神の祝福の光の下を歩むためには、このように生きるべきです。

- あなたの人生において、神を第一に考えなさい！
- あなたの思考は、神に喜ばれる人生を送りたいという願いに満ちているべきです。
- あなたの中で、イエス様への愛がますます強くなりますように。
- あなたのすべての行いは、イエスを喜ばせることを目的としています。
- あなたは、イエスがあなたのためにしてくださったことに対して、何かお返しをしたいと思っていますのですね。
- あなたはイエス様に喜んでもらいたいのですね。
- あなたは、聖霊があなたの魂の中でますます大きな位置を占めることを望んでいる。
- あなたは既に人生観を変え始めている。
- あなたはますます、「主よ、私に何をさせたいのですか？」と自問するようになる。
- あなたの利己心、傲慢さ、そして自己決定への欲求は、あなたの中で後退していく。
- その結果、あなたの中には、他者への愛と謙虚さがますます増していくでしょう。
- あなたは自分を真のキリストの信者だと考えており、ますますイエスに似た者になりたいと願っている。
- あなたは福音書に記されているイエスの性格特性を身につけようと努めます。つまり、愛、思いやり、赦し、受容、親切、柔和、忍耐などです。
- 聖霊はあなたの存在そのものを変えようとしており、あなたの性格はこの方向へと向かうでしょう。

知っておくべき重要な点：こうした性格の変化は一夜にして起こるものではありません。数ヶ月、場合によっては数年かかるプロセスです。しかし、私はあなたにこうアドバイスします。諦めずに続けてください！

15.2 イエスならどうするだろうか？

イエスならどうするだろうか？」と自問自答し続けてください。

イエス様が、あなたの日々の決断において、助けとなり、導き手となってくださいますように。

何をするのが正しいのか分からなくなったら、イエス様に尋ねてみてください。イエス様はいつもあなたのそばにいてくださいます。正しい決断を示してくださるでしょう。

もしそうでないなら、それは第三者と問題を話し合い、検討すべきだというサインです。だからこそ、信仰の友を見つけることが大切なのです。共に正しい道を歩む方がずっと容易になります。

知っておくべき重要な点：特にあなたの自発的な反応において、あなたの本質がすでに神聖な方向へと向かっているかどうかを判断することができます。

15.3 イエスにとどまる：

イエスの中に留まることと、オンラインでイエスと繋がることは、本質的には同じことです。しかし、イエスが当時弟子たちに語ったたとえ話を思い出していただきたいと思います。

ヨハネによる福音書 15:1-5 (HFA)

「わたしはまことのぶどうの木であり、わたしの父は園丁です。父はぶどうの木から実を結ばない枝はすべて切り落とし、実を結ぶ枝はもっと実を結ぶように手入れをされます。あなたがたはわたしの言うことを聞き、すでに良い枝となっています。」

わたしとしっかりと結びついていれば、わたしもあなたとしっかりと結びついていきます。枝は、ぶどうの木につながっていなければ、それだけでは実を結ぶことができません。同じように、あなたがたも、わたしとつながっていなければ、実を結ぶことはできないのです。

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝です。わたしにとどまる人は、わたしがその人にとどまっているように、多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何一つできないからです。

この一文はそれ自体が全てを物語っていると思う。つまり、これだけだ。私なしでは何もできない！

15.4 祈り

15.4.1 基礎

私たちが祈るとき、私たちの祈りは三位一体のものです。すなわち、イエス・キリストの名によって、聖霊を通して、父なる神に祈るのです。

- 父なる神へ：神はすべての生命の源であり、私たちの崇拝の目的です。
- 御子を通して：キリストは神との仲介者です。ですから、私たちはキリストの名によって祈ります。

私たちは自分の功績によってではなく、イエス・キリストの名によって神に祈るのです。なぜなら、イエスは私たちを神と和解させてくださったからです。

- **聖霊を通して**：聖霊は私たちの祈りを神に届けてくださいます。

聖霊は私たちの祈りを支え、祈り方を教えてください。（ローマ人への手紙 8:26-27）

このように、すべての祈りは三位一体的な意味を持つが、私たちはしばしばそれを意識的に表現しない。

15.4.2 祈りの中で語りかける相手が異なる

しかしながら、私たちは三位一体を構成する個々の位格に直接語りかけることは可能です。

- **父の祈り**。主の祈りにあるように。
- **イエスへの祈り**：個人的な関係、救いへの感謝、日常生活における支援の要請。
- **聖霊への祈り**。聖霊が私たちに伝えたいこと、教えたいことを聞きたいと願う祈り。

一つの祈りの中でこれらのレベルを切り替えることも可能です。

しかし、多くの信者は、常に父なる神に祈るか（イエスが教えたように、主の祈り、ルカ11:2-4）、イエスに祈るかのどちらかです。なぜなら、私たちはイエスと個人的な関係を持っているからです。イエスは神への道なのです。

15.4.3 最良の祈りの実践方法とは？

一日の始まりに外出する前に、祈りの時間を設けることを習慣にしましょう。

「**どれくらいの時間ですか？**」と疑問に思うかもしれません。

できる限り長く。10分あれば、その日の出来事を神と語り合うのに十分な時間でしょう。この10分は、非常に有意義な投資です。

あなたの祈り：

神に感謝！（あるいはイエス様に感謝！）夜が明けて健康で爽快な気分が目覚めることができるように、神に感謝しましょう。

あなたは今日一日を神に委ね、これから起こるすべてのことを神と語り合います。神の臨在を求めましょう！今日起こるすべての出来事において、イエスがあなたのそばにいてくださるようお願いしましょう。隣人との付き合い方について、イエスに知恵を求めましょう。

出会うすべての人をありのままに愛し、受け入れることができるよう、あなたの心に大きな愛を注いでくださるようお願いしましょう。

どうか神様に、常に正しい言葉を口にし、あなたの考えを守ってくださるようお願いしてください。（間違ったことを考えてしまうこともあるでしょうから。）

就寝時：

寝る前に一日を振り返り、神（あるいはあなたの守護者であるイエス）に感謝し、今日あなたに与えてくれたすべてのものに感謝する習慣をつけましょう。

15.4.4 傾聴の祈り

多くの福音派運動では、傾聴の祈りを実践している。「傾聴の祈り」とは、祈る人が神に願う事や感謝、不満を伝えるだけでなく、根本的に耳を傾ける姿勢を持つことを意味する。これは、祈る人がただ言葉を発するだけでなく、意識的に沈黙の中で神の声を「受け取る」祈りを指します。それは単に言葉を発するのではなく、意識的に立ち止まり、印象、内なるイメージ、聖書の言葉、あるいは思考を神の答えとして受け止める祈りなのです。

これはしばしば、静寂と称賛の雰囲気の中で、多くの場合、他の人々と共に起こる。こうして、人は自分が受けた感動を他の人々と共有することができるのだ。

15.4.5 神の前での瞑想の時間：

霧が立ち込めるどんよりとした11月のある日を想像してみてください。

外の世界は、あらゆる色が灰色一色。人々は憂鬱に沈んでいる…。

でも、太陽を想像してみて！

太陽は確かに存在する！でも、雲に隠れていて見えないだけ。太陽を見つけるには、アルプスに行かなければならない。高いところへ。雲のすぐ上へ。そして今、あなたは太陽が見える！あなたはもう、太陽の輝く海の中に立っているのだ！

神についても同じことが言えます。

週に数回、じっくりと瞑想する時間を確保しましょう。瞑想は、祈りに耳を傾けることと関連しています。

床に座って目を閉じてください。神に、あなたを完全に満たしてくださるようお願いしてください。体の中に温かさが広がっていくのを感じてください。

それは、神の愛があなたの心に流れ込んでいるのです！山小屋のレストランのテラスにあるデッキチェアに座り、太陽の光が顔を温めている自分を想像してみてください。顔を神に向けてください！神は愛と優しさで
あなたを照らしてくださいます。

主の光を見よ！主の計り知れないエネルギーを。主の光に満たされよ。主の愛に完全に包み込まれよ。それは、神の臨在への内なる扉を開くことである。この神聖な光があなたを満たす。

モーセが律法の石板を持ってシナイ山から降りてきたときのように。彼はまさに神の光を放っていたのだ！出エジプト記34章33-35節を読んでみよ。モーセはある意味で、神の栄光の光を映し出していたのだ。

こうした**瞑想の時間**、神の御前に立つ時間、神の御顔の前に立つ時間、そして神と一体となる時間は、私にとって常に非常に貴重なものです。

15.5 愛

愛は、あらゆる神と人間の存在の根本原理である。私は第19章全体を愛に捧げた。

15.6 許し

赦しは、イエスの最も重要なテーマの一つである。

父よ！彼らをお許してください。彼らは自分が何をしているのか分かっていないのです！」と叫んだと言われている。

イエスはかつて、人を何回赦すべきかと問われたことがある。（マタイによる福音書 18:22）

いや、彼はこう言う。 **「7回じゃない。77回だ！」**

別の箇所で、イエスは、天国に入りたいなら、自分に罪を犯した者を赦すことが不可欠だと述べています。（マタイによる福音書 6:14-15）

「あなたがたが、自分に害を与えた者を赦すなら、天におられるあなたがたの父もあなたがたを赦してくださいます。しかし、あなたがたが彼らを赦さないなら、神もあなたがたの罪を赦してくださらないでしょう。」

したがって、心からあなたに害を与えたすべての人を許しなさい。さもなければ、あなたは天国の市民権を得る資格を失うでしょう。

また、**頑固な債務者のたとえ話**も読んでください。マタイによる福音書 18:21-36

16. 信仰を深めるにはどうすれば良いでしょうか？

16.1 基本事項

信仰を深めることは、聖霊の中で成長することと同じである。

なぜなら、聖霊があなたの内に宿ると、あなたの信仰も自然と深まるからです。したがって、聖霊に満たされることは非常に重要です。

16.2 学んだことを応用する：

信仰は、他の新しく習得したスキルと同じだ。使わなければ、失われてしまう。

しかし、神を信じるということは、単なるスキルではなく、生き方そのものである。

実践：さあ、本書の内容を実践に移しましょう。そうすることで、イエス様と聖霊との出会いがますます増え、神（聖霊）の声を聞く力が強まります。

例：外国語と同じです。使えば使うほど、上手に話せるようになります。そして、新しい単語を学ぶ時間も取れば、さらに上達するでしょう。

ですから、イエスと聖霊があなたの中でますます偉大な存在となるよう、毎日祈りましょう。

彼らは、あなたが信者として活動する上で、あなたを助け、支えてくれるでしょう。

16.3 信仰とは信頼を意味する

知らない人を信用することはできません。「私を信じて」と言われたら、選択肢は2つあります。「はい、信じます」と言うか、「いいえ、なぜ信じなければならないのですか？」と言うかです。

神を信頼すべき主な理由は、神が信頼に値するお方だからです。神は聖なるお方です。神は決して嘘をつきません。神は約束を必ず守られます。

しかし、時には予想もしない方法で約束を果たされることもあります。あるいは、約束が成就するまでに時間がかかる場合もあります。

「神は人間ではないので、嘘をつくことはない。また、人間ではないので、後悔することもない。神は語って行動しないだろうか？約束して約束を守らないだろうか？」

(民数記23:19、詩篇89:34)

もしあなたが、自分に害を与えた人を許すことに困難を感じているなら、他のクリスチャンに、この点に関してどのような経験をしてきたのか尋ねてみるのは理にかなっています。

16.4 神の意志を認識する

イエスは、真の親族とは父の御心を知り、それを行う者たちであると言われた。(マルコによる福音書 3:35)

神はあなたに御自身の意志を示してくださっています。神は私たちに多くの指示を与えてくださっています。それらは神の言葉の中にあります。**だからこそ、毎日聖書を読むことが大切なのです。**

例えば、**「あらゆることに感謝しなさい。これがあなた方に対する神の御心だからである」**
。

(テサロニケ人への手紙第一 5:18)

「私たちは善行を行うべきだ。」 (ペテロの手紙第一 2:15) また、**「あなたがたが聖なる者となるためには、淫行を避けることが神の御心です。」** (テサロニケの信徒への手紙第一 4:3)

私たちは神の御心を知っています。聖霊がそれを私たちに啓示してくださるのです。そして、私たちはそれを新約聖書の中に見ることができます。

ローマ人への手紙12章2節にはこうあります。**「この世の型に倣ってはなりません。むしろ、心の刷新によって自分を変えなさい。そうすれば、神の御心、すなわち、善であり、喜ばれるべき、完全な御心を見分けることができるでしょう。」**

ここでパウロはローマ人への手紙の中で重要な原則を説明しています。

神の子は世俗に背を向け、神に自分の考え方や性格を変えてくださるよう祈願する。信者の心は神によって変えられ、神の意志をはっきりと認識できるようになる。

それにもかかわらず：

神の御心を見極めるのは、時に難しいものです。なぜなら、神の御心はすぐには明らかにならないことがあるからです。そのような時は、神に御心を示してくださるよう、そして忍耐と信仰を強めてくださるよう祈るべきです。多くの場合、神は物事を一つずつ、段階的に私たちに示してくださいます。私たちはただ、忍耐と信頼を持つだけで良いのです。

16.5 神の導きに従う

あなたはおそらく、特定の状況における神の意志は何なのか疑問に思っているでしょう。例えば、どこで働くべきか、どこに住むべきか、誰と結婚すべきか、どの車を買うべきかなど。

神は私たちに自分で決断する自由を与えてくださっています。私たちは操り人形ではありません。私たちが神に従うなら、神は間違った決断をしないように導いてくださいます。（使徒行伝16章6-7節参照）

あらゆる決断において神に助言を求める必要はありません。時が経つにつれ、あなたは神の考えを理解できるようになるでしょう。神が何と言うか、あなたは正確にわかるようになるでしょう。

神と共に歩み、神の言葉に従い、神の御霊に頼るならば、キリストの心があなたに与えられていることを実感できるでしょう（コリント人への手紙第一 2:16）。

人生の旅路において、三位一体の神と深く結びついている時、あなたは神の御心を行いたいと願うようになるでしょう。

なぜなら、神はあなたの心に御心を書き記し、御心があなたの願いとなるからです。これこそが、神の導き方なのです。

17. 愛：人生で最も大切なもの！

愛は、多くの点で人間存在の中核をなす要素です。究極的には、人々の生活のすべてはたった一つのもの、つまり愛を中心に展開しています。だからこそ、このテーマは非常に重要なのです。

生物学的に見ると、愛はドーパミン、オキシトシン、セロトニンといった神経伝達物質やホルモンと密接に関係している。これらは、親密さ、信頼、そして愛着を経験する上で重要な役割を果たす。したがって、愛は単なる感情ではなく、身体的な状態でもあるのだ。

愛は支えとなり、ストレスを軽減し、人生の喜びと自尊心を高めます。安定した愛情深い人間関係を築く人は、より健康で長生きする傾向があります。

古代においても、プラトンやソクラテスといった哲学者たちは愛について深く考察し、愛こそが最も重要なものであるという結論に至った。

愛は単なる自己利益を超越する。それは私たちに思いやり、献身、そして進んで行動する心を開く。愛は、たとえそれが自分にとって何らかの犠牲を伴うとしても、他者のために何かをする力を与えてくれる。

愛は自然の法則だ。人間は愛されたいと願う。そして、愛されなくても、少なくとも尊敬されたいと願う。

愛はロマンチックなものだけではありません。深い友情、親子の愛、動物への愛情、活動への情熱、理念や理想への献身など、様々な形で現れます。愛は相反する感情を併せ持ちます。至福に満ち、充実感をもたらす一方で、苦痛を伴うこともあります。まさにこうした感情の多様性こそが、愛を人生における力強い経験たらしめているのです。

人間は自尊心を高めるために愛を必要とします。愛されていると知ることは、この世で最も美しいことです。私たちは愛されていると感じて初めて、自分自身に心地よさを感じることができます。少なくとも一人は私たちを愛してくれるべきです。もし他の人がそうでなくても、せめて神様だけでも。

神にとって、愛は最高の美德です。なぜなら、**神は愛そのものだからです**。したがって、キリスト教は、同胞への愛を最高の美德として強調します。愛はまた、分離を克服する力として、すべての生き物とのつながりの表現でもあります。

限りなく愛しています！神はあなたを創造しました。あなたがそれを受け入れ、心を開けば、神の愛はあなたを人生を通して支えてくれます。それはあなたに力を与え、あなたを高めてくれます。

17.1 人間、関係性を持つ存在

神は私たちを、他者を愛することができる関係的な存在として創造されました。私たちは孤独になりたくありません。だからこそ、私たちは仲間や会話を求めるのです。たとえ誰もそばにいないとしても、私たちは自分自身に話しかけます。トム・ハンクス主演の

映画「キャスト・アウェイ」を覚えていますか？

彼は飛行機事故の唯一の生存者で、今は無人島で暮らしています。孤独を避けるために、彼はバスケットボールに顔を描き、仲間を作りました。そして、海でその「ウィルソン」を失ったとき、彼の世界は崩壊しました…**本当に胸が張り裂けそうになります！**

もしトム・ハンクスが映画で演じたチャック・ノーランドが信者であったなら、チャックは島でイエスという素晴らしい仲間を得ることができたでしょう。

はい、私たち人間は関係性を求める存在です。神は私たちをそのように創造し、神との関係を求め、育むことができるようにされました。**関係性と愛は、まるで双子のように切っても切れない関係です。**ですから、私たちも神を愛することができるのです。

ルカによる福音書10章27節にはこうあります。 *「あなたは、心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。また、あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい。」*

多くの人は神に対して無関心です。しかし、愛に関しては、少なくともこの点においては、人々はその重要性を認識しています。人間関係や愛なしには、人間の生活は成り立ちません。**愛を与えれば、愛は私たちに返ってくるのです。**

したがって、人生において最も重要なことは、**愛を实践すること**なのです！

17.2 愛の側面

この戒律に関連するいくつかの側面を以下に示します。

隣人愛を土台として：隣人を愛せという戒めは、神への愛と密接に結びついています。隣人を愛さなければ、真に神を愛することはできません。

黄金律：黄金律とは、自分がしてもらいたいと思うことを、他人にもしてあげるべきだという教えです。

自己愛は前提条件：他者を愛するためには、まず自分自身を愛し、大切にすることが重要です。

異なる考え方を持つ人々への対処法：隣人を愛するとは、出身、宗教、信条に関係なく、人々を尊重し、受け入れることも意味する。

充実した人生を送るための手引き：隣人を愛することの重要性を強調する聖書は、充実した意義深い人生を送るための道を示してくれます。

17.3 エロス、フィリア、アガペ

序論で述べたように、ギリシャ語には愛を表現する言葉がいくつかあります。

エロス：エロティックな愛というものがある。その言葉は「エロス」だ。この言葉には説明は不要だと思う。

フィリア：これはギリシャ語で愛を表す2番目の言葉です。親密な友情や兄弟愛を指します。

アガペー：ギリシャ語における愛の3つ目の形は「アガペー」です。これは聖書で語られている愛の種類です。アガペーの愛の本質は、神の愛、慈悲、慈善、そして受容です。

アガペー愛とは、他者と共にいることの、全体的かつ意図的な喜びです。それは、誠実さ、献身、そして意識的な意志の働きを包含します。その高い道徳性と強い意志において、他の愛とは異なります。アガペー愛は、

コリントの信徒への手紙一13章に美しく描写されています。

アガペーは、神への愛を表す言葉としても用いられます。（ルカによる福音書 10:27）

神の私たちへの愛：神の愛は十字架の上で最も明確に示されています。

「しかし、憐れみに富む神は、私たちを深く愛してくださったその大きな愛のゆえに、死んでいた私たちをキリストと共に生かしてくださいました。あなたがたは恵みによって救われたのです。」 エペソ人への手紙 2:4-5

私たちは、友人であろうと敵であろうと、アガペーの愛をもって他者を愛すべきです。イエスは、たとえ私たちに全く関心のない人であっても、他者のために自己犠牲を払うことの例として、善きサマリア人のたとえ話を語られました。

揺るぎない意志の表明：キリストが体現したアガペーの愛は、感情に基づくものではなく、揺るぎない意志の表明です。それは、他者の幸福を自分自身の幸福よりも優先するという積極的な決断です。

17.3 聖書の中で愛について最も重要な聖句

ここに、愛に関する最も重要な詩句を書き留めておきました。

これらはすべて聖書翻訳版「すべての人への希望」 (Hope for All) からの引用です。(Hfa)

「愛は忍耐強く、親切です。愛はねたまず、自慢せず、高慢にならず、無礼な振る舞いをせず、自分の思い通りにしようとせず、怒らず、恨みを抱きません。」 コリント人への手紙第一 13:4-5

「あなたがたのすることはすべて、愛をもって行いなさい。」 コリント人への手紙第一 16:14

「愛する皆さん、神がこのように私たちを愛してくださったのですから、私たちも互いに愛し合うべきです。」 ヨハネの手紙一 4:11

「そして、これらすべての徳の上に愛を身につけなさい。愛はこれらすべてを完全に結び合わせるものです。」 コロサイ人への手紙 3:14

「愛する者たちよ、互いに愛し合いましょう。愛は神から出ているからです。愛する者は皆、神から生まれ、神を知っています。」 ヨハネの手紙一 4:7

「愛さない者は神を知らない。なぜなら、神は愛だからである。」 ヨハネの手紙一 4:8

「こうして、信仰と希望と愛という三つのものが残る。その中で最も偉大なのは愛である。」 コリント人への手紙第一 13:13

「互いに愛し合いましょう。なぜなら、神がまず私たちを愛してくださったからです。」 ヨハネの手紙一 4:19

「この愛は、私たちが神の戒めに従って生きることによって示されます。そして、その戒めとは、初めからあなた方に告げられたものと同じです。『互いに愛し合いなさい。この戒めを人生の指針としなさい。』」

ヨハネの手紙第二 1:6

「謙遜と柔和、そして忍耐をもって、愛をもって互いに忍耐し合いなさい。」 エペソ人への手紙 4:2

「何よりもまず、互いに深く愛し合いなさい。愛は多くの罪を覆うからです。」ペテロの手紙第一 4:8

「これがわたしの戒めです。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。」ヨハネによる福音書 15:12

「兄弟愛をもって互いに愛し合いなさい。互いに尊敬し合いなさい。」ローマ人への手紙 11:10

「もし私たちが互いに愛し合うなら、神は私たちのうちに宿り、神の愛は私たちのうちに完成される。」

ヨハネの手紙一 4:12

「互いに愛し合うこと以外は、だれにも何も負ってはならない。人を愛する者は、律法を全うしたことになる。」ローマ人への手紙 13:8

「主があなたがたを互いに、またすべての人に対して愛を増し加え、豊かにしてくださいませように。私たちがあなたがたを愛しているように。」テサロニケ人への手紙第一 3:12

「憎しみは争いを引き起こすが、愛はすべての過ちを覆う。」箴言 10:12

「あなたは、心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。」マルクス 12:30

「あなたは隣人を自分自身のように愛しなさい。」マルコによる福音書 12:31

「愛は不正を喜ばず、真理を喜びます。愛はすべてを耐え忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐え抜きます。」コリント人への手紙第一 13:6-7

「愛は隣人に害を与えない。ゆえに、愛は律法の成就である。」ローマ人への手紙 13:10

「愛とは、私たちが神を愛したことではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪の贖いのいけにえとして御子を送ってくださったことである。」ヨハネの手紙一 4:10

愛について書かれた美しい詩は他にもたくさんあり、それらを読むと心が癒されます。
ぜひ探してみてください！

18. どうすれば神の声を他の声と区別できますか？

18.1 トピックの概要

人生は毎日、私たちに決断を迫ります。それは、キャリアの選択、パートナー選び、そして学校、大学、仕事に関する決断から始まります。

私たち人間には、通常、いくつかの選択肢が用意されています。

私たちは、イエス様が私たちにとって最善だと考える選択をしたいと思っています。

しかし、数ある選択肢の中から、イエスが正しいと考える選択肢はどれなのか、どうすればわかるのでしょうか？

では、私に降り注ぐ様々な声や印象のうち、どれが神からのものなのでしょうか？

私たちは、正しい道、すなわち神の道を選ぶことが重要であることを理解しています。なぜなら、祝福はまさにこの道の上に成り立っているからです。

18.2 個人的な経験

私は人生で25年間後悔する決断をしました。当時、私はまだ若く、信仰も浅かったのです。

しかも、迷いの中にあり、この決断に関して最もはっきりと聞こえた声は神の声だと信じていました。しかし、それは悪魔の声でした。サタンは私たちの悲しみを喜ぶのです。

しかし、神に感謝します。神は限りなく私たちを愛してくださいます。神は私を祝福し、常に私の上に手を差し伸べてくださいました。それ以来、私は様々な声を聞き分けることの大切さを多く学びました。

いずれにせよ、振り返ってみると、あのたった一度の誤った決断を除けば、私がしていることはほぼ常に神の意志だと感じてきたと言えます。そして、イエス様はいつも私の歩む道を忠実に支えてくださっています。

18.3 あなたは？

あなたはどちらの道を選びますか？心の中のどちらの声に耳を傾けますか？

心の中で一つの声だけでなく、複数の声が聞こえることがある…。

さて、ここで問われるべきは、神の良き声と、私たちを自分の支配下に引き込もうとする敵対者の声は、一体どちらなのかということです。

知っておくと良いことその1：

目に見えない世界では、善と悪が私たちをめぐる争っています。悪魔は絶えず私たちを神から引き離そうとします。＞ペテロの手紙第一 5:8-9

「目を覚まして、慎み深くありなさい。あなたがたの宿敵である悪魔は、吠えたける獅子のようにあなたがたの周りをうろつき回り、あなたがたの一人を食い尽くそうと待ち構えています。信仰に堅く立ち、悪魔の攻撃に抵抗しなさい。そして、世界中の兄弟姉妹が皆、このような苦難に耐えなければならないことを覚えておきなさい。」

知っておくと良いことその2：

正直に申し上げます。

もしあなたが、複数の声が聞こえてきて、どれに耳を傾けるべきか迷っているような状況に陥っているなら、それはあなたがまだイエスに従うことに完全に身を捧げていない証拠です。あなたの人生への扉はまだ少し開いています。悪魔はいつでも自由に出入りできるのです。

だからこそ、聖霊があなたに語りかけるように、彼もあなたに語りかけるのです。そして、あなたはあまりにも多くの声が聞こえるので、混乱してしまうのです。

悪魔をあなたから追い出さなさい。悪魔はもうあなたに何の影響力も持たないようにしなさい。そうすれば、悪魔はもうあなたに話しかけてこなくなるでしょう。それが理想的なシナリオです。

言い換えると：

胸の中で複数の声が聞こえるなら、それはあなたがまだ真にイエスに身を委ねていないというサインです！

人生を変え、聖霊に力と能力を与えてもらい、罪を人生から根絶し、真に聖なる人生を送るようにしましょう。

ヤコブの手紙4章7節は私たちにこう呼びかけています。 **「悪魔に抵抗しなさい。そうすれば、悪魔はあなたから逃げ去るでしょう。」**

それは全くその通りです！もしあなたが常に聖なる生活を送り、聖霊があなたを完全に包み込んでいるなら、良い声と悪い声を区別することに何ら困難はないでしょう。

しかし**実際には**、宗教を信仰する人々の大多数は、たいていは無意識のうちに、敵対者が彼らの生活に侵入し、物事を妨害することを許してしまっているのだ。

もう一度言います。これは**重要なこと**なので。

もしあなたが自分の生活の中で罪を容認していることに気づいたなら、その悪を排除しなさい。聖なる生活を送りなさい。サタンがあなたから逃げ出すような生き方をしなさい！そうすれば、あなたはもはやサタンに悩まされることもなくなり、胸の中で様々な声が聞こえるという問題もなくなるでしょう。

私がここであなたに伝えていることは**簡単ではありません**。このレベルで生きている信者は多くありません。

ですから、諦めずに続けてください。イエスはあなたに忍耐強く接して下さいます。

18.4 ヒントとコツ

胸の中で聞こえる様々な声を区別するのに役立つヒントとコツをいくつかご紹介します。

- 神の声は、恐ろしいものではなく、平和なものです。
神の声は、たとえ戒めたり正したりする時でさえ、愛と真実と明晰さに満ちた口調で語りかけます。その声は、混乱や恐れではなく、平和をもたらします。 **「神は無秩序の神ではなく、平和の神だからです。」**（コリント人への手紙第一 14:33）
- 自問自答してみよう。「たとえその電話が困難なものであったとしても、私は心の平安を感じているだろうか？」
- 神の言葉は常に聖書と一致しています。
神の言葉は決して利己的でも、愛に欠けるものでも、人を操ろうとするものでも、破壊的なものでもありません。
- 検討せよ：その声が私に伝えようとしていることは、神の本質（愛、正義、真実）と合致しているか？
- 、私自身と他者の善性を促進するだろうか？
- 献身と信頼。それが神があなたに求めているものです。
- 神の言葉は、しばしばあなたを神に近づけることを目的としています。神の言葉は、あなたを居心地の良い場所から引き離すため、時に不快に感じられるかもしれません。

- 例えば、彼はあなたにこう言うかもしれません。 *「たとえ今は道が見えなくても、私を信じてください。」*
- 敵対者の声（あるいはメッセージ）は、しばしば執拗で、人を操ろうとし、正義についての私たちの理解を押し付けてきます。この声が私たちに伝えようとしていることは、かなり不親切で、時には非難的ですらあります。

悪魔があなたに納得させようとしていることの例：

- あなたはこれを受けるに値する！あなたはもう十分やった。他の人がすべきだ...
- あなたは責任を取らなければならない！！ - 神はあなたにこれを望んでいる！ - 人々はあなたのことをどう思うだろうか！

- 神の声は全く異なります。神の御霊は、とても静かに、プレッシャーを与えることなく、しかし諭すように、そして優しさをもって私たちに語りかけます。
- 多くの場合、私たちはすぐにそれを理解します。「これは神の声だ！」と。
- 神の声とは、忍耐、信仰、勇気、喜び、真実といった善を内包する声である。
これらの資質をもたらないものは、おそらく神の起源ではないだろう。
- 他の信者に相談しましょう：困難な状況に陥ったときは、霊的に成熟した人、つまり神の声に耳を傾けることに長けた人に助言を求めるのが賢明です。
「助言者が多ければ多いほど、安心できる。」 箴言 11:14
- 決断するときは時間をかけてください！何事も急いではいけません！神はめったに、あるいは全く、あなたに行動を強制することはありません。
もし「今すぐやらなければならない…」というプレッシャーを感じるなら、それはたいてい敵対者の声です。
- 実践的なアプローチ：イエス様との毎日の対話（瞑想）を行います。どの道（あるいはどの声）が正しいのかをイエス様に示していただくようにお願いします。
メモを取りましょう：何が聞こえますか？どんな感じがしますか？

18.5 不服従

時として、サタンは私たちを強く支配し、私たちは不従順になり、聖霊が命じることを行わないことがあります。そうです！私たちは神の声をはっきりと聞いているのに、それでもなお、神の助言に従わないのです。

私たちはこう考えがちです。「少しの不従順なら大したことない！」と。しかし、サタンは私たちを操る方法をあつという間に見つけ出します。警戒を怠らず、賢明でありましょう！
祈り：神に明晰さを与えてくださるよう、また聖霊が導き手となるよう祈りましょう。

19. いずれにしても、私は永遠の命を得るのでしょうか？

19.1 聖書的基础

もしかしたら、あなたはそもそも永遠の命を持っているのか、あるいは、もしあなたが神に背を向けたら、神はあなたの名前を命の書から消し去ってしまうのか、と疑問に思っている

かもしれません。聖書学者の間では、この点について意見が分かれています。神学の学派によって、この問いに対する答えは異なります。

新約聖書には、信者に確固たる土台を提供する箇所が含まれている。 約束をする。

ヨハネによる福音書3章16節には、キリストを信じる者は皆「**滅びることなく、永遠の命を得る**」と記されている。ヨハネによる福音書10章28節では、イエスは、誰も自分の羊を自分の手から奪い取ることはできないと述べている。

多くのキリスト教徒は、このような聖句を保証として理解しています。すなわち、真の悔い改め（回心）と信仰をもってキリストに身を委ねる者は誰でも、永遠の命を不可分に受け取るということです。

19.2 さまざまな神学的視点：

カルヴァン主義者／改革派：真に回心した者は、常に救われる。保証は、自分自身の誠実さにあるのではなく、神の誠実さにある。

福音派の視点：

救いは確かに存在するが、人は意識的に神から離れる（背教する）こともある。ここで強調されているのは、最後まで信仰を貫くことである。

カトリックと正教会の視点：

洗礼と信仰は救いへの道を開く。しかし、人は神の恵みの中に留まらなければならない。重大な罪は、この恵みを無効にする可能性がある。その場合、和解と新たな方向性が必要となる。

実践的な意味：

真の弟子となるということは、生涯を通してキリストとの関係を育むことを意味します。聖書的な観点から言えば、「保証」は「契約」ではなく、むしろ関係性として理解されます。

結論：あなたが生涯を通して神との関係を保ち、神から離れない限り、神はあなたに永遠の命を与えてくださると確信できます。

20. イエスは天国へ行く唯一の道ですか？

はい、イエスこそが天国への唯一の道です。

このような排他的な主張は、現代人の耳には混乱を招いたり、驚きや傲慢さを感じさせたりするかもしれません。しかし、それは紛れもなく真実です。

聖書は、イエス・キリストを通して以外に救いの道はないと教えています。イエスご自身もヨハネによる福音書14章6節で、*「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことはできない」*と言っています。

イエス・キリストは、数ある道の一つではありません。イエスこそが唯一の道、唯一無二の道なのです。

評判や業績、特別な知識の有無、あるいはどれほど心優しい人であっても、イエスを通してでなければ、誰一人として父なる神のもとへ行くことはできない。

神が人となってこの世に来られたイエス・キリストは、私たちの罪のために死に、私たちに永遠の命という賜物を与えるために来られた。

「しかし、彼は私たちの背きのために刺し貫かれ、私たちの咎のために打ち砕かれた。私たちに平和をもたらす懲らしめが彼の上にあり、彼の傷によって私たちは癒された。」（イザヤ書53章5節）

イエスは神ご自身であり、全人類の救い主として父なる神によって選ばれた（ペテロの手紙第一 2:4）。

イエスは神であり、天から降りてきて、再び天に戻られた方です（ヨハネ3:13）。神であるゆえに、イエスは完全で罪のない生涯を送ることができました（ヘブライ4:15）。

イエスは、ヨハネ14:6だけでなく、他の箇所でも、ご自身が天国への唯一の道であると語られました。マタイ7:21-27では、ご自身を信仰の目標として示されました。イエスは、ご自身の言葉は命であると述べ（ヨハネ6:63）、ご自身を信じる者は永遠の命を受けると約束されました（ヨハネ3:14-15）。

- 彼は羊のための門である。（ヨハネによる福音書 10:7）
- 彼は命のパンである。（ヨハネによる福音書 6:35）
- 彼は復活であり、命である。（ヨハネによる福音書 11:25）

これらの称号を正当に主張できるのは、彼以外には誰もいない。ペテロがサンヘドリンの前で演説した際、彼はイエスこそが天国への唯一の道であると明確に宣言した。

「そして、他の誰にも救いはありません。天の下で、わたしたちが救われるべき名は、この名のほかには人々の間に与えられていないからです。」（使徒行伝 4:12）

ヨハネは教会への手紙の中で、キリストの名こそが私たちの赦しの根拠であると述べています。

「私があなたに手紙を書いているのは、あなたの罪が彼の御名によって赦されたからです。」（ヨハネの手紙一 2:12）

イエス様以外に罪を赦せる人はいません。天国での永遠の命は、キリストを通してのみ得られるのです。

「あなたは永遠の命の言葉を持っておられます。私たちは信じ、あなたがキリスト、生ける神の子であることを知りました。」（ヨハネによる福音書 6:68-69）

イエス・キリストほど権威のある宗教の創始者は他にいない。奇跡を起こせる人物は他に誰もいない。

なぜなら、他の宗教の創始者たちは皆ただの人間であり、彼らの思想は真実とは一致しないからだ。

キリスト教信仰だけが真理である。イエスがご自身について証言されたように。

「わたしは道であり、真理であり、命である。」

21. 神はなぜ苦しみをお許しになるのですか？

21.1 トピックの概要

全能で慈悲深い神がなぜ苦しみを許すのかという問いは、神学と哲学において最も古く、最も深遠な問いの一つである。聖書のヨブ記から現代の思想家に至るまで、何千年にもわたり人類を悩ませ続けてきた問いである。

私は神ではないので、ここでは推測しか述べることができません。

しかし、いつか私は栄光の中にいるでしょう。その時、これらの疑問はすべてイエス様によって解き明かされるでしょう。私はそのことを確信しています。

自由意志：神は私たち人間を、ご自身の姿に似せて創造されました。そして、私たちに自由意志を与えてくださいました。それと同時に、私たちに責任も与えてくださったのです。

神は操り人形やロボットさえも創造しない。そして、それが当然のことだ。神は私たち人間に自由を与えた。なぜなら、真の愛、道徳、そして責任は、自由の中でこそ可能になるからだ。

自由の濫用：苦しみはしばしば、人々がこの自由を濫用することによって生じます。そして、私たちを盲目にし、悪事（戦争、暴力、貪欲、憎悪、搾取）へと駆り立てる敵対者は常に存在します。特に現代においては、人々が悪に影響されたときに何が起こりうるかを示す多くの例があります。

自分たちの決定が国に苦しみ、困難、飢餓、戦争、そして困窮をもたらすかどうかを気にしない政治家は数多く存在する。

これは必然的に、「なぜ神は介入して状況を明確にしないのか？」という疑問を生じさせる。まるでボクシングの試合で、両選手が一定の限度を超えた場合に審判が介入するように。

人々がそうするのを阻止する：

神が戦争を始めるのを阻止することは確かに可能だろう。しかし、神はご自身だけが知る理由で、このような苦しみを許しておられるのだ。

もう一度言っておきますが、神には計画があります。すべては神のシナリオ通りに進んでいるのです。

神ご自身が聖書の中でそう言っています。**イザヤ書55章8-9節**（HFA）

「私の考えはあなたたちの考えとは異なり、私のやり方はあなたたちのやり方とは異なる。」

天が地よりも高いように、わたしの道はあなたがたの道よりも高く、わたしの思いはあなたがたの思いよりも高い。

そしてパウロもローマ人への手紙の中で陶工のたとえについて言及している。（エレミヤ書18章による）

ローマ人への手紙 9:20 「人間よ、あなたがたは何者で、神を責めることができると思うのか。土の器が陶工に『なぜ私をこんな風に作ったのですか』と言うだろうか。」

21.2 苦しみは人格を形成する：

苦しみは単なる罰や罪の結果ではなく、人格形成のための手段である。

困難がなければ、忍耐、勇気、思いやり、受容、許しといった美德は生まれないだろう。

苦しみは私たちを目覚めさせ、神に叫び求めるように促します。苦しみを通してこそ、私たちは真に神を必要としていることに気づくのです。苦しみがなければ、私たちは神を求めることはないでしょう。

悲しいけれど、事実だ…。

人生における苦しみや問題は、私たちを強くする。

まるで裸足で歩いているような感覚です。最初は足の裏がまだ丈夫になっていないので、まるで卵の殻の上を歩いているように慎重に歩きます。しかし、数ヶ月経つと足の皮膚が丈夫になり、まるで靴を履いているかのように歩けるようになります。

21.3 キリストの弟子として苦しみを受ける。

確かに、神は時に私たちに多くのことを求めます。しかし、神は私たちにイエスを与えてくださいました。私たちがもはや自力で立ち上がる力を失った時、イエスは私たちを支えてくださいます。そのような時、私たちは神の支えを感じます。こうした経験は私たちを形作り、信仰を強めてくれるのです。

イエスは私たちに警告し、彼の弟子として生きることは容易ではないと告げた。

マタイによる福音書 7:13-14

「狭い門から入りなさい。滅びに至る門は広く、その道は広い。そこから入る者は多い。しかし、命に至る門は狭く、その道は細い。それを見つける者は少ない。」

また別の箇所では、彼は私たちにこう語り、後継者となるための準備をさせている。

マタイによる福音書 16:24-25 : 「わたしに属したい者は、自分を一番に考えず、自分の十字架を負ってわたしに従いなさい。」

自分の命にしがみつく者はそれを失い、わたしのために命を捨てる者はそれを永遠に得る。

21.3.1 自分の十字架を背負うとはどういう意味ですか？

イエスはこの衝撃的なイメージを用いて、次のことを説明している。

自己否定：神の意志に従うために、自分の欲望、安心感、自己決定権を脇に置くこと。

苦難に耐える覚悟：イエスに従う者は、信仰ゆえに拒絶、嘲笑、あるいは迫害さえも覚悟しなければならない。

一貫した弟子としての生き方：キリストに従うという決断は、日常生活における付け足しの選択肢ではなく、人生全体を包含するべきものです。たとえそれを失う覚悟があっても。
なぜなら、最終的には報われるからです。

イエスは私たちの燃料補給所：イエスは、私たちが彼からエネルギーを補給できると教えています！（マタイによる福音書 11:28）

「すべて疲れた者、重荷を負っている者は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」

そしてイエスはさらにこう語っています。（ヨハネによる福音書 16:33）

「この世では苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは世に打ち勝ったのだ。」

簡単ではありません！イエスは、ご自身に従うことが容易ではないことをご存知です。しかし、イエスはあなたに何度も何度もご自身のもとへ来るように呼びかけています。そして、日々の生活を送る上で必要な、神聖な力を与えてくださいます。それは、他者と真に繋がるための
愛と優しさ、そして日々の務めに取り組む喜びです。

イエスは私たちの先を行かれた。

人類は墮落以来、苦しみへ耐え忍ばなければならない。私たちは苦しみを受け入れ、耐え忍ばなければならない。神ご自身が、最大の苦しみを身に負うことで模範を示された。

すなわち、イエスが十字架上で私たちのために受けた苦しみは、完全に自発的なものでした！これは、神ご自身が苦しみから逃げないことの十分な証拠です。イエスは最大の苦しみを負われたのです！

目標：黙示録21章：最終的には、神はすべての苦しみをなくされるだろうが、それまでの間、苦しみはより大きな、しばしば目に見えない目的を果たしている。

21.4. 神は非人間的な存在か？

多くの人がこう言います。

私は、神は愛に満ちた神ではないと信じています。そうでなければ、こんなことを許すはずがありません！

- 数千人が死亡する自然災害。
- 他人を殺す人々。
- 女性や少女を虐待する男性たち。

この考え方は非常に理解しやすい。私たち人間は、人間の目を通して神を見て、愛に満ちた人間的な神として想像するのだ。

はい、神は愛です。それは真実です。

しかし、神は人間ではありません。神は神聖な存在です！そこには大きな違いがあります。神は人の肉体的な死に「問題」を感じていないと私は思います。結局のところ、死ぬのは肉体なのですから。

神にとって、人の魂は肉体よりもはるかに重要だと私は信じています。なぜなら、魂は永遠に生き続けるからです。

もしそのような人が既に神に従っているならば、その魂はすぐにキリストの信者たちが住む死者の領域へと入るでしょう。

あなたの魂が永遠をどこで過ごすかは、あなたが決めるのです！それは、あなたが地上での人生をどのように生きたかによって決まります。

あなたはまだ破滅への広い道を歩んでいるか、それとも栄光への狭い道を選んだかのどちらかだ。

ことわざ：蒔いた種は刈り取る。

2 1.5. 旧約聖書にはなぜこれほど多くの血が出てくるのか？

神が民に、征服した土地の民すべてを滅ぼすよう命じたという事実に、多くの人々は動揺している。カナンの民を滅ぼせという命令は、申命記、ヨシュア記、士師記の中で何度も繰り返されている。

男も女も子供も…そんなことを想像するだけでも恐ろしい！ **「これはまさに大量虐殺だ！」**と誰もが言うだろう！絶対に許されない！まるで第二次世界大戦のヒトラーのようだ！

信仰に入っただけの人々が旧約聖書のこれらの箇所を読むと、嫌悪感を抱いて聖書を捨て、神に反抗する。

「愛に満ちた神が、どうしてそんなことを命じることができるのか！いや！私はそんな神を信じることはできないし、信じるつもりもない！」

したがって、この使命を適切な文脈に位置づける必要がある。イスラエル人に対する神の使命を正しく評価するためには、当時カナンの地に住んでいた諸国民が完全に堕落していたことを知る必要がある。罪はウイルスのようにこれらの人々の間に蔓延していた。神によれば、これらの諸国民は罪によって醜く変質していた（申命記9:4-5、18:9-12）。

これらの民族の間で日常的に行われていた残虐行為の中で、特に以下のものが挙げられる。児童犠牲、カルト売春、偶像崇拜、魔術儀式との関連など、多岐にわたる行為が行われていた。

神は、もしこれらの人々を生かしておけば、彼らがイスラエル人と交わり、その罪がウイルスのようにイスラエル人に蔓延することを予見していた。

以下の事実は、神の命令と恐れが正しかったことを示している。

イスラエル人は神に完全に服従しなかった！

申命記7章1-2節で命じられているような完全な殲滅ではなく、イスラエルは奴隷化と服従という手段も用いた。彼らはいくつかの民族、特にペリシテ人、ミディアン人などを滅ぼさずに残した。

この不完全さは、神によって明確に批判されている。（士師記2:1-3）

「それゆえ、わたしはもはやこれらの民をあなたたちの領地から追い出すことはしない。むしろ、わたしがあなたたちに警告したことが実現する。彼らはあなたたちに大きな苦しみを与え、偶像によってあなたたちを破滅へと導くであろう。」

結論：

神は諸国を完全に滅ぼすよう命じた点で正しかった。たとえこの命令を実行することが現代

の私たちには恐ろしいことであり、当時のイスラエル兵にとって実行が極めて困難であったとしても。

21.6. 個人的な経験

私はこれまで、癌で亡くなった友人や親戚を何人も失いました。その中には、11歳の少女もいました。彼女は白血病を患っていました。

私は彼ら全員のために熱心に祈りました。なぜなら、彼らに死んでほしくなかったからです。

しかし、私の祈りはこれらの人々には何の役にも立たなかった。

これはどのように分類すれば良いのでしょうか？

- 私の祈りは十分熱心ではなかったのだろうか？
- 神は私の祈りを全く聞いてくださらないのだろうか？
- 彼の約束は嘘なのか？
- 神は非人間的な存在なのか？
- 神は子供の死にどのような目的を託されたのでしょうか？

神への祈りが聞き届けられなかったことに、私は大変落胆しました。神から特定の答えを引き出す魔法のような祈りなど存在しません。私の願いが神の御心に合致するならば、神はそれを叶えてくださるでしょう。

神が私たちを限りなく愛し、私のような粘土の塊から最良のものを形作ってくださることを知っているからこそ、私は神の御業と御決定を受け入れることができるのです。

パウロはローマ人への手紙の中でこう書いています

(ローマ8:28) 「そして、私たちはこのことを知っています。神を愛する者たち、すなわち、神の御心に従って選ばれた者たちのためには、神はすべてのことを働かせて益としてくださり、益となるようにしてくださるのです。」

22. 神の祝福の光の中で生きる

聖霊に導かれ、イエスに完全に身を委ねる方法：

22.1 神と共に生きることはなぜこんなにも難しいのか？

- あなたは神を完全に信頼することを決意しましたか？
- あなたは彼の意志のために祈っていますか？
- しかし、あなたは自分の人生の主導権を完全に彼に委ねることをためらっているのですか？
- あなたは指導を求めているのですか？
- しかし、聖霊があなたを導こうとするとき、あなたはそれに抵抗しますか？

イエスに完全に身を委ねることが、なぜこんなにも難しいのでしょうか？

それは葛藤です！コントロールと委ねの間の葛藤。神への完全な信頼と、物事を自分の手で解決しようとする葛藤です。

真実はこうです。もしあなたがまだすべてを自分でコントロールしたいと考えているなら、聖霊に完全に導かれることはできません。神は部分的な委ねを求めているのではありません。神は、すべてを手放し、愛に満ちた御手に身を委ねることを求めているのです。

全身全霊を傾けなければ、真の使命を十分に果たせないまま生きていくことになるでしょう。確かに、信仰の瞬間を経験することはあるでしょう。しかし、真の信仰生活を送ることはできません。神の存在を感じることはあっても、神の力によって歩むことは決してないでしょう。常にサイドブレーキをかけたまま運転しているようなものです。

あなたは、なぜ彼の約束がこれほど遠いものに感じられるのか、なぜ彼の声がこれほど不明瞭に聞こえるのか、そしてなぜあなたの心が神の中で完全な平安を見出せないのか、常に疑問に思うでしょう。

真実はこうです。完全に身を委ねた瞬間、すべてが変わります。

その時こそ、神との葛藤をやめ、恐れや疑念、そして自分の計画を手放す時です。そして、聖霊に導かれた真に充実した人生へと足を踏み入れるのです。

恐れやためらいなく聖霊の導きに従う方法をお伝えしたいと思います。降伏とはコントロールを失うことではなく、より高次の目的を目指すことであることを理解していただければよい。

抵抗を手放し、神の声を聞き分け、聖霊の導きに完全に身を委ねる方法を発見していただければ幸いです。

しかし、まず最初に、なぜ多くの人が真の神への献身を経験できないのかを理解する必要があります。

なぜほとんどの人が聖霊に身を委ねることがこれほど難しいのでしょうか？

その理由は、献身は人間の本性ではないからです。

私たちは生まれたときから、自分で物事をコントロールし、自分のために戦うように教えられてきました。自分の力に頼り、自分で決断するようにと。

世間はこう言います。「降伏は弱さだ！」人生を諦めること、コントロールを手放すことは、世間知らずで愚かなことだと。私たちは常に計画を必要とします。そして、念のため、プランBも必要です！

しかし、神の国は違います。真の力は降伏の中にあります。真の知恵とは、自分の理性よりも神を信頼することです。真の力は、コントロールを手放し、聖霊に導かれるままに身を委ねたときに得られるのです。

人々が神に身を委ねることをためらう理由の一つは、コントロールを失うことへの恐れです。心の奥底では、もしすべてを神に委ねたら、神が自分たちを養ってくれるとは信じていないのです。身を委ねることは、自分たちの安楽と安心を失うことを意味すると恐れているのです。

しかし実際には、現状維持に固執することは、恐怖、不安、そして苛立ちにつながります。コントロールを維持しようとすればするほど、実際にはコントロールできていないことに気づきます。自分の健康を本当にコントロールできる人はいるのでしょうか？そして、挫折はどうでしょうか？

もう一つの理由は、未知への恐怖です。人間の心は安心感を求めます。人は行動を起こす前に、あらゆるステップを知りたいがります。従う

前に全体像を見ようとする人は、神の導きの完全さを経験することは決してないでしょう。また、多くの人が失敗への恐怖にも苦しんでいます。

人々は「もしうまくいかなかったらどうしよう？」と考えます。

しかし、神に身を委ねることは決して失敗ではありません。失敗とは、神なしで生きようとすることです。

神の働き方は独特です。聖霊は私たちを一步ずつ導いてくださいます。私たちは信仰をもって神の聲に従うことによってのみ、前進することができるのです。

22.2 神に完全に身を委ねること：

ペテロはイエスを信じていた時は水の上を歩くことができました。しかし、嵐に気を取られた途端、沈んでしまいました。信仰のおかげで船から脱出できたのですが、恐怖心が彼を沈ませたのです。イエスに目を向けている限り、彼は水の上を歩くことができたのです！しかし、波への恐怖心が湧き上がると、彼は沈んでしまいました！これは、私たちが一時的に神を信じて、状況が不確実になった途端にコントロールを手放してしまう時に起こることと同じです！

これらの人々は、神への信頼に関して内なる葛藤を抱えています。彼らは、真に神の手に完全に身を委ねることを学んだことはありません。

神が彼らを限りなく愛しておられ、たとえ困難に見える道であっても、神のすべての道が究極的には最善であることを、真に理解したことはありません。

パウロはこのことを認識していました。彼はローマ人への手紙の中で次のように書いています。（ローマ人への手紙8章28節）「**私たちの身に起こるすべてのことは、私たちの益となるように働くのです。**」これは、**神の計画に従って選ばれたすべての人に当てはまります。**これはあなたにも当てはまります！

過去に、他者から、経験から、失望から傷ついた人々がいます。そして、無意識のうちに、その不信感を神に投影してしまうのです。神は他の人々を見捨てたように、自分たちも見捨ててだろうと決めつけてしまうのです。あるいは、例えば、神が答えてくれない祈りについて、神に見捨てられたと思い込ませようとする敵対者もいます。

しかし、神は真実であり、その計画は常に善です。神に身を委ねることは危険ではなく、あなたが下せる最も安全な決断なのです。

中には、自分で物事を解決できると信じているからこそ、降伏を拒む人もいます。彼らは自分の論理、能力、経験に頼る。しかし聖書はこう言っている。「あなたの知恵には限りがある。」

神の知恵は永遠です。あなたは自分自身に頼ってストレスを抱えて生きることもできますし、神を信頼して超自然的な平安の中で生きることもできます。あなたがコントロールしようとするものが、実際にはあなたをコントロールするのです。

あなたが手放そうとしないものこそ、まさにあなたを支配する力を持っているものです。しかし、手放し、信頼を選び、抵抗をやめたとき、真の自由と真の平和が始まります。

しかし、自分が気づかないうちに聖霊に抵抗しているかどうか、どうすればわかるのでしょうか？神は様々な方法で語りかけ、導いてくださいます。しかし、多くの人は気づかないうちに聖霊を無視してしまいます。私たちは、気づかないうちに、知らず知らずのうちに聖霊に抵抗しているのです。

聖霊は常にあなたに語りかけています。常にあなたを導こうとしています。常にイエスとのより深い関係へとあなたを招いています。多くの人が聖霊の導きを感じられず、その声を真に聞き取れないの

は、無意識のうちに聖霊に抵抗しているからです。抵抗は必ずしも公然とした反抗の形をとるわけではありません。神への「ノー」という返事ではありません。時には、抵抗はもっと巧妙な形で現れるのです。

抵抗は言い訳、遅延、そして気晴らしの中に潜んでいる。

多くの人は自分が神を待っていると思っているが、実際には神が彼らを待っているのだ。神は長い間語りかけてきた！しかし、そのメッセージは巧妙だ。

人々が聖霊に抵抗する最も一般的な方法の一つは、聖霊の優しい促しを無視することです。

聖霊 彼はささやく。しかし彼らはそれを単なる考えだと一蹴する。

彼はそれを暴露するが、彼らはそれを反論で否定する。彼は行動を起こすよう促すが、彼らはためらう。

信者は、神がはっきりと聞こえる声で、劇的なしるしで、否定しようのない力強い何かで語りかけることを期待します。

しかし実際には、聖霊はしばしば沈黙の中で、心の静かな確信の中で語りかけます。

人々が神に抵抗するもう一つの方法は、従順を遅らせることです。神が語りかけるとき、従順は即座に行われるべきですが、多くの人はためらいます。彼らは、最初の指示に素直に従うのではなく、何度も確認を求め、しるしを探し求めます。

しかし、従順を遅らせることは不従順です。聖霊が祈るように、赦すように、何かを手放すように、信仰をもって一歩踏み出すようにと告げても、それを先延ばしにすると、あなたは気づかないうちに神に抵抗しているのです。

人々はまた、聖霊と交渉しようとすることで、聖霊に抵抗する。

彼らは神に完全に身を委ねるのではなく、妥協しようとする。「神よ、私はあなたを信じます。しかし、あなたがこうするかあするなら、という条件付きです」

とか、「この点についてはあなたに従います。しかし、あの点については、自分で決めたいと思います」と言うのだ。

彼らは、完全に支配権を手放すことなく、神の祝福を望んでいる。しかし、聖霊は部分的な委ねを通して働くのではない。

完全に委ねるか、さもなければ常に霊的な緊張状態の中で生きることになる。

気を散らすものもまた、巧妙な抵抗の形の一つです。聖霊は人々をより深い祈りへと、イエスとのより親密な交わりへと招きます。

しかし、人々は代わりに、多くの世俗的な事柄やソーシャルメディアで時間を埋め尽くしてしまうのです。

敵はあなたを無力にするために、あなたを完全に破壊する必要はありません！ただあなたを惑わすだけでいいのです！あなたの心が忙しすぎて耳を傾けることができず、あなたの心が忙し

すぎて反応することができない限り、あなたは無意識のうちに抵抗してしまうでしょう。

そして、最大の抵抗は、

神が既に手放すように、あるいは別の何かにしがみつこうと告げたものに固執することです。

裕福な青年は永遠の命を望んでいました。しかし、彼は自分にとって最も大切なものを手放そうとはしませんでした。彼は、神の意志と自分の意志の両方を手に入れることができると考えていたのです。

しかしイエスは彼に決断を迫った。

青年は降伏を拒んだため、悲しんで立ち去った。多くの信者がこのような葛藤を抱えて生きている。彼らは神を愛しているが、それでもなお支配欲にしがみつき、神が既に手放すように命じたものを手放そうとしないのだ。

もしあなたがためらったり、彼の声に耳を傾けなかったりするなら、あなたは彼に抵抗していることになります。そして、抵抗するたびに、あなたの心は硬くなり、彼の声を受け入れにくくなります。

さらに、抵抗すればするほど、彼があなたを導いていることに気づくのが難しくなるでしょう。

もしあなたが抵抗するなら、聖霊の声はやがてあなたにとって遠いものに感じられるでしょう。それは聖霊が語りかけるのをやめたからではなく、あなたが抵抗し続けることで徐々に耳が聞こえにくくなるからです。

知っておくと良いこと：聖霊があなたを導いている時を認識できるようになります。聖霊と深く調和することで、あなたの人生における聖霊の導きが明確かつ力強いものとなるのです。

神は無秩序や不確実性の神ではありません。神が語られるとき、そこには明瞭さ、平安、そして確信があります。

多くの人は、神の語り方に慣れていないため、神の声を聞き分けるのに苦勞します。神の導きを認識できない人は、自分の決断を常に疑ってしまいます。そのような人は、信仰をもって前進する代わりに、

常にためらってしまうのです。聖霊はしばしば深い確信を通して導きます。それは単なる考えや一過性の思いではありません。それ以上のものです。聖霊はあなたの心に根を下ろし、消えることの無いものです。それは、あなたを行動へと、信仰をもって前進へと招く神聖な促しです。だからこそ、この声に耳を傾けないのは危険なのです。ためらう時間が長ければ長いほど、聖霊に従うのではなく、聖霊に抵抗するように心を訓練してしまうのです。

神の導きの最も明確な兆候の一つは、心の平安です。神があなたを導いてくださる時、たとえ不確かな状況にあっても、たとえ詳細が分からなくても、あなたは霊に深い平安を感じます。

私たちは、神と共に歩み続けることで、この平安を得ることができます。神は私たちを、日々、一步一步、一瞬一瞬、イエスと常に繋がって歩むために創造されたのです。これこそが、神が私たちに望まれた生き方です。

この平安とは、困難がない状態ではなく、神がすべてを支配しておられるという確信のことです。

もしあなたが混乱や恐れ、絶え間ない疑念に苦しんでいるなら、それはあなたが神の意志に従うのではなく、自分の意志を押し付けようとしている兆候かもしれません。

聖霊はまた、確証を通して私たちを導きます。聖霊が語りかけるとき、聖書の箇所を示すことによって、あるいはあなたの心に与えられたものと一致する状況を通して、しばしばそのメッセージを確証します。聖霊は扉を開いたり閉じたりすることによって私たちを導きます

。聖霊に身を委ねると、機会が容易に訪れるか、あるいは予期せず扉が閉ざされることに気づくでしょう。神の導きとは、あらゆる障害を乗り越えようと奮闘することではなく、神があなたのために用意された扉をくぐる

ことなのです。どんなに努力してもうまくいかないことがあれば、それは神があなたをより良い方向へ導こうとしているからかもしれません。聖霊はまた、切迫感を通して語りかけます。

何かをしたいという強い衝動を感じる時があります。

誰かのために祈っている時も、神が示してくださったことをしている時も、この切迫感はいばしば、神があなたを先延ばしから救い出そうとしている方法です。

問題は、あなたが耳を傾けるか、それとも手遅れになるまで待つかということです。**聖霊の導きを認識するために、天からの大きな声は必要ありません。**

あなたはただ、物事をよく理解し、耳を傾け、神が語られるときには従えば良いのです。

常に劇的な出来事を待ち望んでいると、ずっとあなたを導いてきた優しいささやきを見逃してしまうかもしれません。

しかし、神の声を聞き取ることを妨げ、多くの人が完全に身を委ねることを阻んでいる何かが存在します。そして、それに向き合わない限り、あなたは常に神の導きに従うことに苦勞することになるでしょう。

問題はエゴ、つまり自己実現への欲求にある。

彼らは理論上は神を信じているが、実際には自分の知恵、自分の計画、自分の力に頼っている。祈りは捧げるものの、物事が計画通りに進まないとすぐに主導権を取り戻してしまう。神に導きを求めるのは、自分の望みに都合の良い時だけだ。

自己抑制は、コントロールしているという錯覚を生み出すため危険です。自己抑制は、十分に努力し、十分に綿密に計画を立て、失敗を避ければ、完全に身を委ねることなく人生をコントロールできると錯覚させます。しかし、それは嘘です。

あなたは神から独立して生きるように創造されたものではありません。

サウル王は、自己制御が服従に取って代わったときに何が起こるかを示す完璧な例です。彼は神に召され、指導者として油注がれ、偉大な運命を背負っていました。しかし、神の計画を信頼する代わりに、彼は自分の手で物事を進めようとししました。彼は神に背くことよりも、自分の支配権を失うことを恐れたのです。そして、それが彼がすべてを失った理由です

。命さえも。

これは、自己実現が聖霊への依存に取って代わったときに起こることです。人々は神の道ではなく、自分のやり方で満足するようになります。彼らは信仰よりも論理を、召命よりも快適さを、服従よりも安心を選びます。そしてその結果、彼らは自分の潜在能力を十分に発揮できずに生き、神の計画の完全な形で生きるとは決してありません。

彼らは、神への完全な信頼から生まれる超自然的な人生を決して経験することはないだろう。完全な委ねとは、自分の計画を捨て、神の計画を受け入れることを意味する。しかし、それは同時に、理解できない状況を受け入れる覚悟を持つことでもある。すべては神への信頼に基づいているのだ。

たとえその方法が分からなくても、神の道が最善であると信じなければならない。たとえ道筋が不明確であっても、神の道を歩む覚悟を持たなければならない。神の知恵は、自分の理解力よりもはるかに大きいと信じなければならない。

自制心は、人々が神と共に未知の世界へ踏み出すことを妨げます。しかし、最終的に身を委ね、自分自身に頼るのをやめ、聖霊に完全に信頼を置くとき、すべてが変わります。そして、神の力があなたの人生に解き放たれるのです。

完全に手放した瞬間、あなたはより大きな何かへと足を踏み入れます。それは、混乱から明晰さへ、ストレスから平安へ、苦闘から目的へと移行する瞬間です。

では、完全に身を委ねると、一体何が起こるのでしょうか？抵抗をやめて聖霊にすべてを委ねたとき、聖霊はあなたの人生をどのように変えてくださるのでしょうか？あなたがコントロールを求めて戦うのをやめ、神を完全に信頼した途端、**すべてが変わります。**身を委ねることは、自由を失うことではありません。それは真の自由への入り口です。

イエスご自身があなたの人生という車のハンドルを握り、あなたを乗客として、イエスがあなたにいてほしいと願う領域へと導いてくださる様子を体験することは、実に素晴らしいことです。

絶え間ない葛藤は消え去ります。もはやすべてを自分で解決する必要はありません。聖霊が神聖な知恵を授け、適切なタイミングで正しい道を示してくれるのです。

優柔不断、恐れ、不安といった重荷はあなたから消え去ります。なぜなら、あなたの信頼はもはや自分自身ではなく、すべてを知るお方に委ねられるからです。委ねることで、状況に左右されない超自然的な平安がもたらされます。次に何が起こるかは分からなくても、誰があなたを導いているかは分かります。

あなたはもはや、物事を無理強いしたり、結果を操作したり、争いをしたりする必要性を感じません。神がすべてのステップを計画し、あなたと共に歩んでくださるという確信の中で、あなたは安らぎを見出します。

完全に身を委ねるとき、あなたの祈りはより力強くなります。恐れや絶望から祈るのではなく、神の御心と調和していることを確信して祈るのです。自分の思い通りに物事を進めてくれるよう神に懇願するのではなく、神の御心こそが常に最善であり、最良の道であると信じるようになるのです。

あなたの信仰はもはや感情に基づくものではなく、神がすべてを支配しておられるという揺るぎない真理に基づいています。

聖霊はまた、あなたの中に新たな願望を呼び覚まし始めています。かつてあなたを惹きつけたものは、もはや同じ力を持っていません。かつて不可能と思われたことが、今では手の届くところにあるように感じられます。あなたの願望は、神の願望と一致し始めています。あなたは、神とより多くの時間を過ごしたい、神の臨在と声を切望していることに気づきます。

かつてあなたを神から遠ざけていたものは、もはやあなたの意志ではなく、神の御霊によって導かれるようになったため、魅力を失います。委ねることはまた、神の恵みによる加速をもたらします。あなた一人では決して開けることのできなかった扉が開かれます。かつては遠いものに思えた機会、人間関係、そして突破口が、もはや努力を必要としなくなったために、容易にあなたの元に訪れます。あなたは神と調和して歩んでいるのです。

あなたの中で起こる最大の変化は、あなたのアイデンティティが揺るぎないものになることです。

あなたはもはや過去や業績、あるいは自我によって自分自身を定義づけることはありません。

神があなたを完全に愛し、その全能の力をあなたに与えてくださることを認識し、理解するのです。

あなたはもはや自分を証明する必要がなくなります。あなたは神の中で安心して生き始めるのです。

降伏はあなたのアイデンティティを奪うものではありません。それはキリストにおけるあなたの真のアイデンティティを明らかにするのです。

献身はあなたの顔からあらゆる仮面を取り去ります。あらゆる不安を。献身は不安を自信、勇気、そして決意に置き換えます。

しかし、献身は一度きりの決断ではありません。それは日々の歩みです。それは聖霊に常に導かれるという決意です。大きな決断だけでなく、日常生活の小さな瞬間においても。

22.3 日常生活でこれを実現するにはどうすればよいのでしょうか？

日々の生活の中で聖霊に頼って生きるとは、具体的にどのようなことなのでしょう？
聖霊に導かれるということは、人生の大きな局面で神の声を聞くことだけではありません。それは、毎日、神と調和して歩むことを意味します。

知っておくと良いのは、聖霊の導きは必ずしも劇的なものではないということです。それは多くの場合、あなたの日常生活を形作る静かで絶え間ない導きです。

聖霊に導かれるということは、決断を下す際に、自分の感情や知恵、他人の意見に頼らなくなるということです。あなたは他の何よりも神の声に頼るようになります。恐れや衝動から状況に反応するのではなく、神の知恵と識別力をもって行動するようになります。あなたは単に論理的に思えることをするのではなく、たとえ世間には理解できないことであっても、聖霊が促すことを行うのです。

イエスご自身が、聖霊に完全に導かれるとはどういうことかを私たちに示してくださいました。

イエスはこう言われました。「わたしは自分の意志で何も行いません。ただ父がわたしに告げられることだけを行うのです。」

彼が語った言葉、踏み出した一步一步、行った奇跡のすべては、聖霊の導きのもとで起こった。

彼の生涯は、完全な服従、絶対的な依存、そして父なる神の御心への揺るぎない信頼の完璧な模範であった。聖霊に導かれるということは、日常生活の中で神の存在をより強く意識することである。

会話の中、様々な場面、そしてこれまで見過ごしていたような神の御命令の中で、神がどのようにあなたを導いてくださっているかに気づき始めるでしょう。神に身を委ねれば委ねるほど、神の導きを受け入れやすくなります。神があなたに警告を与え、インスピレーションを与え、偉大で重要な何かへと導いてくださる時を、あなたは認識できるようになるのです。

聖霊に導かれるということは、たとえ全ての答えが分からなくても、信頼することです。神は、詳細を明かさずに、あなたに前進するように促す時があります。それは、信仰の一步を踏み出すように促しているのかもしれませんが。そして、それは、論理的に待つべきだと分かっている、特に状況が不確かな時に起こるのです。

しかし、聖霊の導きは、あなたが見るものに基づくのではなく、あなたの前に何が待ち受けているかについての神の完全な知識に基づいています。神があなたに「信頼しなさい」と言うなら、信頼しなさい。

信頼と委ねの度合いによって、あなたが神の声をどれだけよく聞き取れるかが決まります。もしあなたが部分的にしか委ねなければ、部分的な導きしか得られないでしょう。

しかし、完全に身を委ね、聖霊に人生のあらゆる面を導いていただくなら、あなたは超自然的な流れの中を歩むことになるでしょう。

しかし、真の身を委ねるには、多くの人が恐れるものが必要です。それは、「御心が行われますように」という祈りです。あなたは、この祈りを心から祈る準備ができていますか？この祈りは、あなたの人生を完全に変える力を持っています！準備はできていますか？

これは、完全な身を委ねる祈りです。「主よ、御心が行われますように」と言うとき、あなたは自分自身を完全に神に委ねているのです。

あなたは自分の計画、期待、スケジュールを捨て、すべてを神の手に委ねます。安楽よりも信頼を、楽な道よりも従順を、そして恐れよりも信仰を選びます。この祈りは、確かに挑戦的なものです！

それは、あなたがこれまでしがみついていたもの全てを手放すことを強いる。それは、あなたが手放したいものだけでなく、密かに手放したくないものも手放すことを意味する。

それは、「たと思ひ描いていた通りにならなくても、私はあなたを信じます」と言うことを意味する。

イエスは人生で最も重大な局面でこの祈りを捧げました。

ゲツセマネの園で、十字架の苦しみに耐えながら、こう叫んだのです。「父よ、もし御心ならば、この杯をわたしから取り去ってください。しかし、わたしの願いではなく、御心が行われますように。」この降伏の瞬間がすべてを変えました。父の御心に従うというイエスの意志が、全人類の救いへの扉を開いたのです。

真の献身は、常に現在認識できる以上の大きな目標へと導く。

しかし、多くの人は次に何が起こるか恐れて、この祈りを唱えるのをためらいます。
もし神が私から何かを奪ったらどうしよう？もし神が私に不快なことをするように頼んだら
どうしよう？もし神が私を計画していなかった道に導いたらどうしよう？これらの疑問は、
神が愛であること、神の計画がより良いこと、神の方法が完璧であることをまだ信じようと
苦闘している心を表しています。神はあなたを限りなく愛しています！神は常にあなたにと
って最善のことを望んでいます！

ほとんどの人は、委ねることで自由になれることに気づいていません！抵抗をやめると、コ
ントロールを手放すと、重荷が消えます。すべてをうまくやらなければならないというプレ
ッシャーが消えます。一人で問題を解決しようとすることから生じる恐れが消えます。

あなたは超自然的な平和の場所に入ります！宇宙を創造した神があなたの歩みを導いている
ことを知るので。「御心が行われますように」と祈るとき、あなたは聖霊に主導権を委ね
ます。そして聖霊が主導権を委ねると、すべてが変わります。行き詰まっていたことが動き
始めます。閉ざされた扉が開きます。委ねることで突破口が開かれます。

それは、神の最善を受け取るために、コントロールを手放すことなのです。そして、次に私
たちが話すのはまさにそのことです。手放すことの力、つまり、手放すことが突破口を開く
力についてです。

降伏とは、負けることではありません。それは、より大きな何かを成し遂げることなのです。
しかし、多くの人は自分の計画、自分の期待、自分のやり方に固執しすぎています。そし
てそうすることで、彼らは祈り求めている突破口を自ら阻んでしまうのです。

神は、まだ支配権を握っている手を満たすことはできません。古い重荷を手放そうとしない
心を新しい祝福で満たすことはできません。突破口は、手放したときに訪れます。しかし、
神は時として、信じられないほど難しいことを私たちに求めます。

アブラハムはこれを身をもって経験しました。神は彼に息子、未来、相続を約束しました。
アブラハムを想像してみてください。息子イサクが生まれるまで、彼は100歳まで待たなけれ
ばなりません。妻サラは妊娠したとき90歳でした。

それでもアブラハムは常に神を信頼していました。なんと信仰深いことでしょう。
そして、究極の試練、第二部がやってきました。神は彼にイサクを祭壇に置くように求めま
した。

彼は最も愛するものを手放すほど神を信頼できたのでしょうか。

アブラハムは従い、生涯待ち望んだものを手放す覚悟でした。しかし、彼が支配権を手放し
た瞬間、神は介入しました。

この試練は、イサクを失うことではなかった。アブラハムが神を信頼していることを証明する試練だったのだ。そして、彼が神に従ったことで、彼は神の慈しみと運命の新たな段階へと足を踏み入れたのである。

これが降伏の仕組みです！

あなたが自分に必要だと思っているものを手放すと、神はあなたにそれ以上のものを与えてくださいます。ですから、自分自身を神に委ねてください。神はあなたを別の次元へと導いてくださいます。しかし、あなたがそれを実感できるのは、手放した時だけです。

多くの人は、降伏とは受動的に待つことだと考えています。しかし、降伏は何もしないことではありません。それは信仰の行為です。

「神よ、私はあなたを深く信頼しています。だから、努力するのをやめて、従うことにします」と言うことです。それは、神のタイミングに合わせて行動することを選択することです。

自分の力で物事を無理やり進めようとするのではなく、手放した途端、不可能に思えたことが変わり始めます。あなたが追い求めてきた仕事我突然うまくいくかもしれません。ストレスの原因となっていた人間関係がうまくいくか、あるいは神がそれをあなたから取り除いてくれるかもしれません。

身を委ねるとき、あなたは自分の目標を追い求めるのではなく、天と調和して歩んでいます。天はあなたが努力すること、無理強いすること、支配することをやめるときを待っています。

22.4 どんな状況でも感謝しましょう！

たとえ悪いこと、困難なこと、ネガティブなことであっても、感謝しましょう！

完全に神の手に身を委ね、神を信頼するならば、人生における困難で耐え難い出来事に対しても感謝することができるでしょう。

あなたの信仰と信頼があなたを支えてくれるのです。あなたは、たとえネガティブな状況であっても、すべてが神の手から来ることを知っています。神は、アブラハムにしたように、そのような状況を用いてあなたの信仰を強め、神への信頼を試されるのです。

神は御言葉の中で、人生のあらゆる状況に感謝すべきだと書いています。なぜなら、神がそれらを許されたからです。

テサロニケ人への手紙第一 5章18節を読んでください。

「どんな時にも感謝しなさい。これが、あなたがたのうちにキリスト・イエスがおられるという神の御心です。」

神は、あなたが病気、苦しみ、事故、挫折など、人生のあらゆる状況に対して感謝することを望んでおられます。

あなた方は、神がこれらの状況を許されたこと、そしてこれらの状況があなた方の信仰と神への信頼を強める助けとなることを知っているからです。神はあなた方への愛ゆえに、ご自身の要求であなた方を圧倒することはないと約束しておられます
(コリント人への手紙第一 10:13)。

聖書の中にも、多くのクリスチャンの日常生活の中にも、この神の法則を裏付ける事例が数多くあります。

神は、たとえ斜めの線の上にもまっすぐに文字を書くことができる。

だから、特に辛い時こそ、神が私たちに与えてくださる苦難に感謝しましょう。私たちにとってそれは信じられないほど困難なことです！しかし、最終的には神がどんなに悪い状況からでも良いことを生み出してく下さるか、あなたはきっと知るでしょう。

常に覚えておいてください。

神はあなたを限りなく愛しておられます！神はあなたの人生に完璧な計画をお持ちです。常に神の導きを信じ、絶えず神に頼って生きてください。そうすれば喜びが訪れ、あなたは幸せになります！

きっと、あなたの人生に新たな次元が開かれるでしょう。

神の導き

のもと、真の人生を送るための勇気と決意をあなたにお祈りします。神の豊かな祝福が、あなたの人生を通してあなたと共にありますように。イエスはあなたを愛しておられます！イエスはあなたを幸せにしたいと願っておられます！

23. 結びの言葉

誤字脱字がないかこの信仰の手引きを読み返してみたら、自分がこれを全部書き記したなんて信じられない気持ちになりました。

いえ、実はこの手引きを書いたのは私ではなく、神様だったのです。

神様はこうして導いてくださるのです！あなたも同じように体験できます。

私がこの本を通してそうしたように、あなたが神様に用いられることを許せば、神様はあなたを通して素晴らしいことを成し遂げてくださいます。この手引きが、あなたが神様の祝福の光の下で生きる助けとなることを祈っています。ところで、

雪崩から生き延びた

私の友人ピーターはどうなったのでしょうか？彼もまた、それ以来ずっとイエスに忠実であり続けています。神様は彼に、愛する妻とたくさんの子供たちという豊かな祝福を与えてくださいました。